

第5章 生涯学習

- 第1節 生涯学習の推進
- 第2節 社会教育の推進
- 第3節 青少年教育
- 第4節 成人教育
- 第5節 視聴覚教育
- 第6節 宮城県図書館
- 第7節 宮城県泉が岳自然の家
- 第8節 宮城県松島自然の家
- 第9節 宮城県蔵王自然の家
- 第10節 宮城県志津川自然の家

第1節 生涯学習の推進

社会環境の急激な変化の中にあつて、県民一人ひとりが、自己の充実や生活の向上と望ましい地域社会の形成を目指し、生涯にわたっていつでも、どこでも必要な学習ができるように、生涯学習の視点から社会の各種学習機能を総合的に整備充実し、支援者を養成するとともに、学習の機会を提供することが重要な課題である。

このため、本年度は生涯学習推進の一環として次の事業を行った。

1 第三次宮城県生涯学習振興計画の推進

平成18年3月に策定した「第三次宮城県生涯学習振興計画」に基づき、県民の主体的な学習活動を支援し、生涯学習環境の充実に努めた。

2 みやぎ県民大学推進事業

(1) 高等学校・専門施設・大学開放講座、自主企画講座

県民の多様な学習要求にこたえるため、高等学校、専門施設、大学、民間有志支援者団体、NPO団体の持つ専門的教育機能を活用して、一般教養・専門的知識・技能などの学習機会の提供に努めた。(第5-1表)

第5-1表 平成18年度みやぎ県民大学学校等開放講座開催状況
高等学校開放講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
貞山高等学校	タタラ板を使い「練り皿や器」を作る	8/5~8/19	5	18
宮城広瀬高等学校	工芸(版画、染色、陶芸)	11/25~1/20	4	18
南郷高等学校	農業体験講座	5/27~10/14	4	25
迫桜高等学校	パソコンソフトの活用(エクセル入門)	8/1~8/4	4	22
亘理高等学校	季節の簡単スイーツを作ろう	9/9~12/2	4	15
田尻高等学校	楽しいパソコン教室	7/22~7/23	4	5
加美農業高等学校	休日の畑遊び	6/24~10/28	4	12
水産高等学校	宮城の海・船・魚を学ぶパートⅧ	7/22~9/9	3	26
石巻工業高等学校	セラミックの成形・電子顕微鏡による観察と分析	8/7~8/9	3	4
大河原商業高等学校	やさしいパソコン講座	8/4~8/8	3	36
涌谷高等学校	書道講座	7/24~8/11	5	11
農業高等学校秋保校	秋保校陶芸教室	7/23~10/28	3	5
黒川高等学校	野菜と草花の楽しみ講座	7/1~10/28	5	13
古川工業高等学校	化学技術の世界にふれてみませんか?	7/16~7/30	3	19
佐沼高等学校	やさしい中国語会話(初級コース)	8/19~9/23	5	31
佐沼高等学校	やさしい中国語会話(中級コース)	9/30~10/28	5	31
気仙沼西高等学校	ふれあいパソコン教室	8/17~8/21	3	25
工業高等学校	ワンチップマイクロコンピュータにふれてみよう~尺取り虫型ロボットを使って~	8/2~8/4	3	3
本吉響高等学校	本吉響高校の「ふゆみずたんぼ」	6/10~11/4	4	10
鹿島台商業高等学校	初歩から学ぶIT	7/10~7/14	5	34
伊具高等学校	楽しむ野菜とおいしい野菜づくりそして丸森グリーン・ツーリズム	5/27~11/25	4	44
柴田農林高等学校	農業高校体験講座	7/23~10/22	4	38
盲学校	パソコン点訳講座	7/25~8/1	6	10
ろう学校	誰でもできる!「実践家具作り!」家具作りを体験してみよう	8/20~9/10	4	5
常盤木学園高等学校	おしゃれ音楽散歩2006年	6/16~12/8	6	97

(24高等学校25講座)

(計557人)

専門施設開放講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
齋藤報恩自然史博物館	科学に学ぶ、自然に学ぶ	6/10~12/9	6	56
登米文化振興財団	舞台技術講座	6/7~7/6	6	34
マリンピア松島水族館	水族館と水の生き物をもっと知ろう	9/4~9/25	4	13
宮城県図書館	叡智の杜を訪ねて	7/8~8/19	6	62
宮城県美術館	美術館学入門	6/18~7/9	4	17
宮城県松島自然の家	チャレンジ! ニュースポーツ	9/5~9/26	4	20

(6施設6講座)

(計202人)

大学開放講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
東北学院大学文学部	世界の近代を考える	5/24～6/28	6	205
東北学院大学経済学部	現代アジアにおける社会・経済変動と階層化	10/21～11/11	4	46
東北学院大学工学部	東北学院大学工学部開放講座	5/24～7/12	8	54
東北福祉大学	国際交流を考える～私の見た在外研修を通して～	10/5～11/16	7	47
宮城学院女子大学(白石市開催)	仙南の歴史と文化	11/2～11/23	4	114
東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部	色の三原色を使ってシルクスクリーンによるオリジナルポストカードを作ろう	12/2～12/9	3	26
宮城誠真短期大学	誠真短大開放講座～健康な体づくりを求めて～・パート2	8/30～10/4	6	25
石巻専修大学	学びの窓からみた世界	5/18～8/3	12	113
仙台大学	健康の源、それは「運動と食事」	6/21～7/19	5	119
尚絅学院大学	いのちの教育Ⅱ	9/27～11/29	6	90
宮城教育大学	生き生き子育て講座	7/25～7/26	2	61
東北大学大学院文学研究科	東北のこぼ学	8/26～9/30	5	76
東北大学大学院農学研究科	安全な食資源と私たちの健康	8/31～9/28	5	62
東北大学大学院環境科学研究科(亘理町開催)	地域・時代による「環境問題」の諸相と亘理町	6/3～7/1	4	56
東北大学大学院歯学研究科	生涯元気は口から始まる	9/1～9/22	4	62
東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	サイクロトロンで何? -放射線と探る原子から脳まで-	9/30～10/1	2	22
東北大学大学院経済学研究科	地域企業イノベーションの切り口	9/7～9/28	4	70
東北大学物質科学研究所	エネルギーと環境	8/11～9/8	5	38
東北大学流体科学研究所	流れを科学する	9/1～9/29	5	38
東北大学高等教育開発推進センター	よりよき進路選択のために～大学入学をめぐる最近の状況から～	8/26～9/23	4	13

(10大学20講座)

(計1,337人)

自主企画講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
特定非営利活動法人 宮城生涯学習指導・支援センター	みやぎ県民大学in大崎一食べ物との関わり合いの学習を通して、より健康的な食生活を考えるとともに大崎地域の歴史を考える	10/8～11/4	5	67
伊達なクニづくり女性委員会	みやぎ県民大学in色麻 ともに歩もう女(ひと)と男(ひと)! 心あわせて地域づくり・人づくり	8/23～9/28	3	116
社団法人仙台ユネスコ協会	伊達な世界～華開く芸術文化	10/23～11/6	3	45
特定非営利活動法人 いしのまきNPOセンター	ライフプランセミナー「セカンドライフに向けての生きがいづくり」	10/7～11/25	5	22
わ 1 6 の 会	「即席めん探検隊」～インスタントラーメンの謎にせまる～	8/17～11/4	4	86
特定非営利活動法人 冒険あそび場～せんだい・みやぎネットワーク	防災まちづくり～親子で高める防災意識	9/30～10/12	2	25
ハート&アート空間“ピーアイ”	「ヒトが創る・人が育てる」～おじいちゃんおばあちゃんと考える“新しいアート”のみかた	9/29～11/29	3	33

(7団体7講座)

(計394人)

(2) 生涯学習支援者養成講座「入門編・実践編・研修大会」

角田市 (8/31～12/15) 5回71人

県内の各市町村や社会教育機関・団体・民間等で生涯学習に意欲のある方を対象に、専門的な学習講座や演習の場を通して生涯学習有志支援者を養成するための講座を開設した。

○実施期間及び回数

入門編 1月～2月 実践編 8月～9月 各6回
研修大会 2月23日

○参加の状況

入門編 20人 実践編 24人 研修大会 26人

○受講者の活動分野

家庭教育、成人教育、女性教育、青少年健全育成活動、学習グループ活動等の指導助言

○修了者を民間有志支援者として記載した名簿を作成し、市町村、関係団体などに配布し、その活用を努めた。

(3) 生涯学習活用出前講座

生涯学習支援者養成講座及び女性指導者養成研修事業の修了者を講師として、参加・参画型の学習機会に対する需要の高まりに対応した学習機会を県民に提供し、各地域における生涯学習の推進に寄与するとともに、生涯学習成果の活用促進を図ることを通じ、創造性豊かな社会の実現を目指すため講座を開設した。

○開設市町村 東松島市 (6/13～11/14) 5回29人
加美町 (6/17～10/14) 5回30人
丸森町 (6/24～10/28) 5回26人
岩沼市 (6/30～8/25) 5回43人

3 地域社会と学校教育との協働の推進

(1) みやぎらしい協働教育推進事業

社会の中でたくましく生きる子どもたちを地域全体ではなくむために、地域と学校をつなぐ仕組みをつくり、地域と学校が協働した教育活動を展開した。さらに、広報活動、研修会等で協働推進気運の醸成を図った。

① 協働推進事業

- 「みやぎらしい協働教育推進会議」の開催 (知事、県教育長、学識経験者、市町村長、市町村教育長、実践者等15人) 第3回: 7/27 (協働推進気運の向上について)、第4回: 1/30 (実践成果と今後の方向性について)
- 協働推進検討会議の開催 6/26, 8/11, 10/25～11/25 (現地調査6箇所)、11/2, 2/27 モデル実践成果の検証 (現地視察、聞き取り調査、質問紙調査)
- 協働推進市町村ネットワーク会議の開催 (11/15, 自治会館, 参加者55名)
- 情報提供事業
 - ・ ホームページでの協働実践情報の提供
 - ・ 報道機関を通じた広報活動 (報道機関への情報提供回数: 48回, 新聞掲載63回, テレビ放映23回)

② コラボスクール推進事業

- コラボスクールモデル事業市町村委託 ※1市町村への委託は2年間

20市町(25小学校)との委託契約が結ばれ、各市町、各学区に協働推進組織が設置され、協働による教育実践が展開された。(第5-2表)

- コラボスクール研修会の開催
6/29・自治会館・参加者57名, 7/6・登米合庁・参加者32名, 7/13・石巻市遊楽館・参加者44名
- ③ 起業教育推進事業
 - 起業教育実践補助事業
県内7中学校で、起業教育研究会の設置、運営と中学校での起業教育実践が展開された。(第5-2表)
 - 起業教育実践発表会の開催 11/27, 県庁講堂, 参加者107名, (実践発表, 展示ブース, 実践販売等)
 - 起業教育実践見学会の開催 10/22坂元中学校, 10/22古川西中学校, 10/29栗駒中学校, 10/29&11/3東和中学校, 11/19小原木中学校, 11/27円田中学校, 2/2住吉中学校(各種イベント等での販売実践のため各会場とも参加者多数)

第5-2表

「みやざらしい協働教育推進事業」
平成18年度実施市町村・実践校一覧

(コラボスクール推進事業)

No.	市町村	実践校
1	白石市	越河小学校
2	角田市	横倉小学校
3	角田市	北郷小学校
4	角田市	西根小学校
5	七ヶ宿町	関小学校
6	柴田町	槻木小学校
7	多賀城市	多賀城東小学校
8	岩沼市	玉浦学校
9	亘理町	吉田小学校
10	山元町	山下小学校
11	山元町	坂元小学校
12	大和町	鶴巢小学校
13	大崎市	高倉小学校
14	色麻町	清水小学校
15	涌谷町	竈岳小学校
16	美里町	練牛小学校
17	美里町	南郷小学校
18	栗原市	尾松小学校
19	登米市	加賀野小学校
20	石巻市	大街道小学校
21	石巻市	須江小学校
22	東松島市	大塩小学校
23	女川町	女川第二小学校
24	気仙沼市	白山小学校
25	南三陸町	戸倉小学校

(起業教育推進事業)

No.	市町村	起業教育研究会	実践校
1	蔵王町	蔵王町円田地区起業教育研究会	円田中学校
2	山元町	坂元地区起業教育研究会	坂元中学校
3	大崎市	大崎市起業教育研究会	古川西中学校
4	栗原市	栗原市栗駒起業教育研究会	栗駒中学校
5	登米市	登米市東和地区起業教育研究会	東和中学校
6	石巻市	石巻市起業教育研究会	住吉中学校
7	気仙沼市	小原木地区起業教育研究会	小原木中学校

4 生涯学習情報提供システム整備事業

県民の主体的・自発的な学習活動を支援するため、生涯学習に関する各種の情報を収集・更新し、インターネット上で提供するとともに、生涯学習に関する情報交換の場を提供するため、電子会議室「みんなの広場」も運営している。

5 生涯学習相談事業

県民の主体的な生涯学習活動を支援するため、生涯学習相談員を配置し、生涯学習に関する相談に応じるとともに情報の提供を行った。

(1) 事業内容

○相談時間 火～日曜日 午前10時～午後4時

(2) 利用状況

○相談実日数 287日

相談件数・相談内容・相談時間(第5-3表)

○相談者の性別・年齢・居住地・情報媒体(第5-4表)

平成18年度「生涯学習相談」相談件数・内容・時間
第5-3表

項目	区分	電話相談	面接相談	合計
相談件数		205	1,301	1,506

相談内容	件数	構成比 (%)
学習機会・イベント	442	29.4
施設・場所	146	9.7
団体・グループ	67	4.4
講師・指導者	85	5.6
資格	31	2.1
情報源	334	22.2
その他	401	26.6
計	1,506	100.0
相談時間合計 (分)	20,926	
一件当たり平均 (分)	13.9	
相談実日数 (日)	287	
一日当たり相談件数 (件)	5.2	
入室者数 (人)	4,759	
一日当たり平均 (人)	16.6	

第5-4表 相談者の性別・年齢・居住地及び情報媒体

相談者の性別	区分	件数	構成比 (%)
	男		988
女		518	34.4
計		1,506	100.0
相談者の年齢	9歳未満	0	0.0
	10～19歳	38	2.5
	20～29歳	132	8.8
	30～39歳	155	10.3
	40～49歳	138	9.2
	50～59歳	266	17.7
	60歳以上	777	51.5
計		1,506	100.0
相談者の居住地	仙台市	1,230	81.7
	仙台管内	87	5.8
	大河原管内	11	0.7
	大崎管内	34	2.3
	栗原管内	12	0.8
	登米管内	18	1.2
	石巻管内	8	0.5
	南三陸管内	5	0.3
県外	35	2.3	
不明	66	4.4	
計		1,506	100.0
情報媒体	県政だより	3	0.2
	チラシなど	322	21.4
	新聞・テレビ・ラジオ	29	1.9
	広報・パンフレット	3	0.2
	すこやか	0	0.0
	電話帳	41	2.7
	県庁案内	6	0.4
その他	1,102	73.2	
計		1,506	100.0

第2節 社会教育の推進

1 市町村の社会教育行政

生涯学習社会に向けて、地域住民と直接的な関わりをもつ市町村の果たす役割は大きく、社会教育の推進体制の充実が強く望まれている。

特に、指導体制の強化を図るため、社会教育主管課の設置と職員の適正配置・専任化を促進するとともに、社会教育主事の派遣を行った。

(1) 平成18年12月現在、社会教育主管課の設置状況は、36市町村で83%となっている。

(2) 市町村社会教育関係職員数は、教委事務局468人・公民館職員1,297人（職員の専任532人）・図書館職員251人・視聴覚教材センター職員46人の計2,062人である。なお、市町村における社会教育主事の配置率は97%である。また、社会教育指導員の配置市町村は18市町村で37人と今年も減少傾向になっている。（第5-5表参照）

町村の要請に応じて県教委任命の社会教育主事21人を11町2広域行政事務組合、合併支援のため6市（七ヶ宿・柴田・丸森・山元・大和・七ヶ浜・大郷・色麻・加美・美里・歌津・大崎広域・石巻広域・栗原市（2）登米市（2）大崎（1）石巻（1）気仙沼（1）東松島（1））に派遣し、町村の社会教育行政における指導体制の充実強化を図った。

(3) 社会教育委員は全市町村に設置されており、394人で1教委当たり10.9人となっている。

(4) 公民館等は265館・職員1,297人で1館平均4.9人と微増したが

選任の数は減っている。公民館運営審議会は8市町村に設置され、127人が配置されている1市町村平均15.9人となっている。社会教育委員と兼任しているのは8市町村である。

県市町立図書館は30館あり、専任職員は248人（司書、司書補88人）1館平均8.3人となっている。

第5-5表 社会教育関係職員数 (単位：人)

教育事務所等	市町村教委等数	社会教育主事				公民館職員			
		専任	派遣	兼任	計	専任	兼任	その他	計
大河原	9	10	3	5	18	8	69	99	176
仙台	13	15	4	3	22	77	71	36	184
大崎	5	4	4	1	9	52	62	34	148
栗原	1	2	2	0	4	0	55	0	55
登米	1	0	1	0	1	31	27	0	58
石巻	3	5	2	3	10	29	42	153	224
南三陸	4	5	2	2	9	26	10	14	50
仙台市	1	0	0	3	3	309	26	67	402
広域	4	2	2	4	8	0	0	0	0
計	48	43	20	21	84	532	362	403	1,297

2 社会教育委員の会議

第29次宮城県社会教育委員の会議意見書「自然の家の今後の在り方」を教育委員会に提言した。

会議の日程及び内容

会議名等	開催月日	内 容	場 所
第1回会議	平成18年 4月26日	○第29次宮城県社会教育委員の会議の テーマについて	宮城県自 治会館
第2回会議	平成18年 5月25日	○第29次宮城県社会教育委員の会議の テーマについて	宮城県蔵 王の家
第3回会議	平成18年 6月27日	○「自然の家」の今後の在り方について	宮城県知 事公館
第4回会議	平成18年 7月18日	○「自然の家」の今後の在り方について	宮城県知 事公館
第5回会議	平成18年 8月29日	○第29次宮城県社会教育委員の会議の 意見書について	宮城県自 治会館

3 研修事業

- 社会の進展に伴う県民の学習要求の多様化・高度化に対応し、研修内容を体系的に編成し社会教育関係職員の専門性、指導力の向上を図るため、次の研修を実施した。(第5-7表参照)
- 社会教育専門職員・団体などの中核的指導者を養成するために国や大学が行う各種講習会・研修会・講座への参加を積極的に進めた。

第5-6表 第28次宮城県社会教育委員名簿

No	氏 名	役 職 名
1	阿 部 育 子	仙台市東部市民センター館長
2	阿 部 かほる	子育て支援「みやぎわっこの会」代表
3	石 垣 政 裕	おやじの会ネットワーク世話人代表
4	遠 藤 定 治	女川町教育委員会教育長
5	佐々木加代子	宮城県PTA連合会副会長
6	佐 藤 富 夫	宮城県松島高等学校長
7	宍 戸 君 子	岩沼市立岩沼中学校長
8	菅 原 琢 臣	宮城県青年団連絡協議会長
9	梨 本 雄太郎	宮城教育大学助教授
10	馬 場 道	元(株)河北リサーチ・センター常務取締役
11	水 谷 修	東北学院大学教授
12	森 雅一郎	東北放送株式会社報道制作局長兼アナウンス部長兼解説委員会委員
13	渡 邊 美代子	角田市立北郷小学校
任 期 平成18年3月1日から平成20年2月29日まで ※名簿は五十音順です。		

第5-7表

平成18年度社会教育関係職員研修事業

No.	事 業 名	趣 旨	対 象	期 日	会 場	参加者数 (人)
1	生涯学習・社会教育主管課長等会議	本県生涯学習施策と主要推進事項等の共通理解を深めるとともに、その推進方策や市町村における生涯学習事業の推進について協議する。	県社会教育主事・市町村社会教育主管課長	4. 21	県自治会館	115
				10. 5	県自治会館	90
2	社会教育関係職員セミナー	生涯学習時代における社会教育関係職員・公民館職員の果たすべき役割を明らかにするとともに、企画者、援助者としての専門的知識・技能について研修する。	初任の社会教育行政職員・公民館職員	5. 24 5. 25	松島自然の家	35
3	県社会教育推進会議	県内市町村等の社会教育委員及び社会教育行政の担当者が、生涯学習社会の構築に向けた社会教育の推進方策について研修する。	県・市町村社会教育委員、社会教育関係職員	7. 5	県美術館	207
4	社会教育主事研修会	社会教育主事に必要な知識や技能の向上を図る。	県・市町村等社会教育主事	9. 6	県自治会館	63
5	公民館長社会教育指導員研修会	講話や実践発表等をおして、社会教育に関する専門的な知識を習得し、指導力を高めることで、公民館長・社会教育指導員としての資質の向上を図る。	公民館長、副館長、県・市町村等社会教育主事	9. 27	県自治会館	60
6	社会教育主事講習事前研修会(①・②)	社会教育についての認識を深めるとともに、社会教育主事の役割及び受講の心構えについて研修する。	東北大学社会教育主事講習受講者	① 6. 28	仙台市	46
				② 7. 9	猪苗代町	46

●国立教育政策研究所主催社会教育研修事業

	講 座 名	期 日	受 講 者 数	受 講 者 所 属
1	博物館職員講習	5月10日(水)～6月2日(金) 24日間	1人	仙台市
2	社会教育主事講習(A)	7月24日(月)～8月25日(金) 33日間	5人	仙台市 花山青少年自然の家
3	社会教育主事講習(B)	1月17日(水)～2月23日(金) 38日間	3人	仙台市 女川町、大和町
4	メディア教育指導者講座	11月27日(月)～12月1日(金) 5日間	2人	石巻広域、丸森町
5	図書館司書専門講座	6月12日(月)～6月23日(金) 12日間	0人	
6	新任図書館長研修会	8月29日(火)～9月1日(金) 4日間	0人	

- 東北大学社会教育主事講習（6月28日（火）～7月10日（月））
受講者数47人（県43人・市町村4人）

- (ア)職員は専任の割合が48.5%で1館当たり2.2人である。
- (イ)研修活動としては、県公連と共催で社会教育関係職員セミナーを松島自然の家で実施したほか、公民館長研修会を県婦人会館において開催した。

4 社会教育団体に対する助成

全県の組織をもつ社会教育団体に対して次のとおり補助金を交付した。

第5-8表

団体名	代表者名	補助金(千円)
1 宮城県地域婦人団体連絡協議会	三浦 絢子	180
2 宮城県青年団連絡協議会	菅原 琢臣	180
3 宮城県PTA連合会	櫻中 辰則	180
4 宮城県高等学校PTA連合会	内田 正之	50
5 日本ボーイスカウト宮城県連盟	村井 嘉浩	50
6 (社)ガールスカウト日本連盟宮城県支部	平岡さち子	50
7 (社)宮城県子ども会育成連合会	菅原 芳郎	50
8 宮城県公民館連絡協議会	阿部 俊昭	50
9 宮城県視聴覚教育連絡協議会	阿部 和夫	50
10 宮城県社会教育委員連絡協議会	阪内 六郎	50
11 宮城県ユネスコ連絡協議会	藤原 五郎	50
12 (社)宮城県芸術協会	小山喜三郎	50

5 社会教育施設の状況

生涯学習の拠点として期待される社会教育施設については、積極的に整備充実を図ってきたところであるが、さらに施設の適正配置、専門職員体制の整備、事業内容の充実、関連施設とのネットワーク化等を図り、県民の多様な学習要求に対応できる施設整備を総合的に進めた。

(1) 公民館等

ア 設置状況

公民館は、平成18年度現在265館設置されている。市町村合併の進展や学習ニーズの多様化、高度化に伴い、地域の実情に応じて、関連施設の整備状況などを考慮し、適正な配置と整備充実が進められてきた。（第5-9、10、11表参照）

イ 職員体制と研修活動

(2) 図書館

第5-9表 公民館設置状況

区分	対象人口(人)	現況		1市町村当たり	1館当たり人口
		市町村数	総数		
大河原	191,138	9	49	5.4	3,901
仙台	438,141	13	39	3.0	11,234
大崎	218,276	5	44	8.8	4,960
栗原	80,248	1	21	21.00	3,821
登米	89,302	1	18	18.00	4,961
石巻	221,283	3	19	6.33	11,647
南三陸	96,656	3	16	5.3	6,041
仙台市	1,024,947	1	59	59.00	17,372
計	2,359,991	44	262	5.95	9,007

第5-10表 過去10年間ににおける公民館整備状況

区分	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	この10年間の平均	この5年間の平均
	新築数(館)											
新築数(館)	2	1	2	0	2	1	2	0	0	0	1.0	1.0

表5-11表 公民館職員配置状況

(平16. 5. 1現在)

区分	館長(人)	主事等(人)	計(人)	割合(%)
専任	46	486	532	41.0
兼任	96	266	362	27.9
嘱託	222	181	403	31.1
計	※364	933	1,297	100.0

※2館兼務あり

第5-12表

図書館設置状況

	設置年	床面積(m ²)	蔵書冊数(18.4.1:冊)	個人貸出(17年度:冊)	職員数(18.4.1:人)	うち有資格者数(18.4.1:人)	図書購入費(17年度決算額:千円)
宮城県図書館	明治14年	18,100	1,007,027	997,239	40	18	79,997
仙台市民図書館	昭和37年	3,750	476,025	813,073	23	6	42,595
仙台市広瀬図書館	平成3年	600	89,872	306,736	6	3	11,237
仙台市宮城野図書館	平成2年	3,324.6	194,813	569,449	10	4	17,334
仙台市榴岡図書館	昭和58年	632	69,638	205,398	5	2	8,901
仙台市若林図書館	平成5年	1,911.2	174,901	679,307	10	3	19,033
仙台市太白図書館	平成11年	2,454.3	167,853	683,524	9	3	22,572
仙台市泉図書館	昭和53年	4,983.5	480,745	935,789	17	5	33,804
石巻市図書館	明治14年	1,463.2	181,219	325,187	13	5	15,988
塩竈市民図書館	昭和51年	2,543.5	200,896	312,858	13	4	18,929
大崎市図書館	昭和36年	1518.9	121,779	177,968	8	5	7,853
気仙沼市図書館	大正5年	1,944	189,013	134,196	6	1	6,931
白石市図書館	大正3年	1,234	97,939	94,790	4	2	7,796
名取市図書館	昭和51年	929.9	167,250	217,992	8	4	11,992

	設置年	床面積 (㎡)	蔵書冊数 (18. 4. 1 :冊)	個人貸出 (17年度:冊)	職員数 (18. 4. 1 :人)	うち有資格者3 (17. 4. 1 :1)	図書購入費 (17年度決算 額:千円)
多賀城市立図書館	昭和53年	1,541.2	188,154	338,805	11	3	17,558
角田市図書館	昭和46年	1,011	132,940	133,512	4	1	8,992
岩沼市図書館	昭和50年	976	100,528	199,943	4	3	11,265
栗原市立図書館	平成10年	1,809	83,446	148,287	5	1	8,973
登米市立迫図書館	大正6年	531	34,581	34,271	6	2	2,697
登米市立登米図書館	昭和29年	124	34,499	6,635	5	1	820
東松島市図書館	平成5年	998.5	145,395	271,198	4	2	11,410
蔵王町立図書館	平成16年	593	36,432	91,059	5	2	8,994
丸森町立金山図書館	昭和11年	121	22,944	957	3	0	150
亘理町立図書館	平成6年	1,907	131,652	180,090	7	2	8,826
利府町図書館	平成16年	202.8	33,949	128,024	5	4	4,788
加美町中新田図書館	平成6年	2,878	221,307	125,897	4	1	14,403
加美町小野田図書館	平成16年	1,051	58,095	87,274	3	2	11,890
美里町小牛田図書館	平成2年	923	111,347	181,972	3	2	7,881
南三陸町図書館	昭和62年	416.2	17,385	26,287	4	1	2,082
本吉町立図書館	昭和30年	476	72,788	81,558	5	2	2,030
合計	—	—	5,044,412	8,489,275	250	94	427,721

(3) 博物館

登録施設・相当施設合わせて16館あるが、民族資料館など各地域の特色を生かした類似施設が年々整備されてきている。(第5-13表参照)

県美術館は「開かれた」総合美術センターとして広く県民生活

に密着し、親しまれる事業を企画・実施してきた。

今後ますます県民の豊かな文化環境を求める気運が高まる中で、それぞれの博物館、類似施設などの特色を十分生かした連携が強く望まれる。

第5-13表

博物館設置状況

施設名	設置者	登録年月日	所在地
東北歴史博物館	宮城県	平成12年1月26日	多賀城市高崎1-22-1
宮城県美術館	宮城県	昭和57年9月4日	仙台市青葉区川内元支倉34-1
瑞巖寺宝物館	宗教法人 瑞巖寺	昭和27年8月13日	松島町松島字町内91
斉藤報恩会自然史博物館	財団法人 斉藤報恩会	昭和29年9月13日	仙台市青葉区本町二丁目20-2
仙台市博物館	仙台市	昭和36年10月2日	仙台市青葉区川内三の丸跡
塩竈神社博物館	宗教法人 志波彦塩竈神社	昭和41年5月6日	塩竈市一森山1-1
仙台市科学館	仙台市	平成2年9月26日	仙台市青葉区台原森林公園4-1
仙台市こども宇宙館	仙台市	平成2年9月26日	仙台市泉区泉中央一丁目8-6
カメイ記念展示館	財団法人カメイ社会教育振興財団	平成7年11月10日	仙台市青葉区五橋1-1-3
マリニピア松島水族館	仙台急行株式会社	昭和30年12月28日	松島町浪打浜16
八木山動物公園	仙台市	昭和41年5月25日	仙台市太白区八木山本町1-43
共生福祉会福島美術館	社会福祉法人 共生福祉会	昭和55年8月4日	仙台市若林区土樋288-2
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館	学校法人 梅壇学園	平成元年5月31日	仙台市青葉区国見一丁目8-1
ふるさと歴史館	大崎市	平成4年3月1日	大崎市松山千石字松山428
東北陶磁文化館	加美町	平成6年7月28日	加美町字町裏64
リアス・アーク美術館	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合	平成12年7月18日	気仙沼市宇赤岩牧沢138-5

(4) 青少年教育施設

自然の家4施設(県立)、少年自然の家2施設(国立1、仙台市立1)、国立野営場1施設、青年会館1館があり、それぞれの施設の特色を生かした事業が実施されている。

参加者：104人

・栗原市
期日：平成18年10月7日
会場：栗原市立図書館

(5) 宮城県婦人会館

一泊研修、家庭における男女共同参画講座などの事業を(財)みやぎ婦人会館に委託し実施した。

参加者：55人

・美里町
期日：平成18年10月29日
会場：美里町近代文学館

6 子ども読書活動推進事業

みやぎ子ども読書活動推進研修大会の開催

県内における子どもの読書活動の推進に関する方策と具体的な取組を内容として、平成16年3月に策定された「みやぎ子ども読書活動推進計画」を踏まえ、講演や事例紹介、シンポジウム等を通じ、子どもの読書活動を推進する意義を深める研修大会を次のように開催した。

・登米市

期日：平成18年9月7日

会場：登米市祝祭劇場(水の里ホール)

・石巻市
期日：平成18年11月9日

会場：石巻市遊楽館

参加者：260人

第3節 青少年教育

青少年を取り巻く社会環境の変化が青少年にさまざまな影響を与えている中、次代を担う青少年が社会の変化に主体的に対応できる資質と意欲を持ち、たくましく思いやりのある人間として育つための青少年育成体制と事業の充実、環境づくりの総合的な推進に努める。

(1) 青少年育成指導者研修の実施

No	事業名	内 容	対 象	期 日	会 場
1	MAP（みやぎアドベンチャープログラム）研修会	<p>学校外活動の充実と地域におけるMAPの普及・推進</p> <p>・MAP体験会 MAPの基本的な考え方を学ぶとともに、簡単なMAPのアクティビティを体験する。</p> <p>・MAP講習Ⅰ MAPの理論やプログラミングを学ぶとともに、様々なMAPのアクティビティやローエレメントを研修する。</p> <p>・MAP講習Ⅱ MAPのプログラミングの組立と、アドベンチャーカウンセリング等心理的手法を学ぶ。</p>	<p>市町村教育委員会・公民館・青少年行政担当者・施設職員・少年教育指導者等各 30人</p> <p>MAP体験会修了者 30人</p> <p>MAP講習Ⅰ修了者 30人</p>	<p>6月17日（金） 6月7日（火） 5月24日（火） 5月28日（土）</p> <p>7月6日（水） ～8日（金） 10月5日（水） ～7日（金）</p> <p>10月26日（水） ～28日（金）</p>	<p>泉が岳自然の家 志津川自然の家 松島自然の家 蔵王自然の家</p> <p>泉が岳自然の家 松島自然の家</p> <p>泉が岳自然の家</p>
2	ジュニア・リーダー中級研修会	子ども会の直接指導にあたる年少指導者を対象に、子ども会活動に必要な知識と技術を習得させる研修会	ジュニア・リーダー初級研修修了者(市町村等教育委員会の推薦者) 大河原 34人 仙台 26人 大崎 9人 栗原 17人 登米 30人 石巻 30人 南三陸 31人	7月・8月	各教育事務所ごと5会場で実施（南三陸・登米、大崎・栗原合同開催） 志津川自然の家 蔵王自然の家 松島自然の家 国立花山青少年自然の家 婦人会館 他
3	ジュニア・リーダー上級研修会	ジュニア・リーダー中級研修を修了した年少指導者を対象に、子ども会活動のリーダーや地域ボランティアとしての資質向上を図る研修会	ジュニア・リーダー中級研修修了者(市町村等教育委員会で活動している者) 大河原 8人 仙台 19人 大崎 6人 栗原 4人 登米 4人 石巻 6人 南三陸 6人	12月25日（月） ～27日（水）	泉が岳自然の家 志津川自然の家

(2) みやぎ地域教育力再生事業（文部科学省委託事業）

①趣 旨

「地域子ども教室推進事業」に「地域ボランティア活動推進事業」「文化体験プログラム支援事業」「こども待機スペース交流活動事業」を新たに加えた「地域教育力再生プラン事業」として取り組み、地域の大人の協力を得て、地域に根ざした多様な体験活動や交流活動等の機会を提供することにより、地域全体で子どもを育む環境を充実させ、地域の教育力の再生を図る。

②実施期間 平成18年4月3日から平成19年3月31日

③事業の対象

児童・生徒、青少年健全育成関係者、社会教育関係者、学校教育関係者、事業に関心をもつ者

④事業内容

ア みやぎ地域教育力再生運営協議会…事務局：生涯学習課
年6回 定例会議：平成18年4、5、6、10、11月、平成19年3月

イ 研修会 年7回

- ・コーディネーター研修会…5月 参加者66人
- ・地域子ども教室担当者会議…7月 参加22人
- ・県協議会委員県外視察研修会…7・10、11月
視察地「福島県田村市菅谷公民館」
「地域安全ボランティアフォーラムin東北等」
- ・地域子ども教室指導者研修会…8月 参加者69人
- ・県協議会委員県内視察研修会…8～10月
視察地「県内委託市町村」
- ・県内地域教育力再生検討会…12月 参加者70人

⑤事業再委託市町村…24市町村

- ・地域子ども教室
(小学校や公民館の施設を活動拠点とした子どもたちの安心、安全な居場所づくり)…19市町村23居場所
- ・地域ボランティア活動推進事業
(地域における特色を活かしたボランティア活動の推進)…2町
- ・文化体験プログラム支援事業
(地域の特色ある芸術文化、伝統文化、文化財等様々な文化に触れ体験する)11市町村
- ・こども待機スペース交流活動事業…2市町
(低学年児童が高学年の下校時間など空き教室等を使い安全な下校ができるよう、待機場所で交流する)

(3) 地域教育力活性化推進体制の充実

完全学校週5日制を契機とした地域教育力活性化に向けた総合的な取組への企画立案等やそれに伴う諸課題について協議する推進協議会を設置すると共に、幅広い関係機関・団体と連携等を行う活動支援センターを設置し、学校教育と社会教育を通じた青少年の奉仕活動・体験活動の推進体制の整備に努めた。

また、地域教育力活性化のための先進的事業として、地域の児童生徒と障害のある児童生徒との交流体験活動を実施した。

内容	対象	期日	会場
(1) 県の体制 ①青少年の心のシンフォニー 県青少年社会教育施設等を拠点として、地域の児童生徒と障害のある児童生徒との交流活動や体験活動を実施した。 イ「ハーモニーin蔵王」 26人 ・動物と遊ぼう、バター作り、にじますつかみ体験等 ウ「ハートフル潮風」 59人 ・砂遊び、野外炊飯、地引き網、クラフト等	障害のある児童・生徒、小・中・高校生	9月16日～17日 8月19日～20日	蔵王自然の家 松島自然の家

(4) 青少年の体験活動・ボランティア活動支援

No	事業名	内容	対象	期日	会場
1	地域教育力活性化モデ	再掲	児童生徒	通年	青少年関係施設等

ル事業	内容	対象	期日	会場	
2	青少年長期自然体験活動推進事業	夏休休業と秋の連休中に、親と離れて最低2週間程度の自然体験、長期宿泊体験を実施する。	児童生徒 17人 35人	①8/5～8/12 ②12/16～12/17 7/30～8/12	NPO法人冒険あそび場せんだい・みやぎネットワークに委託 仙台市青葉区大倉十里平 泉が岳自然の家・松島自然の家
3	セカンドスクール的活用事業	児童生徒に豊かな体験の場を提供するために、学校と青少年教育施設との連携・融合を図り、宿泊体験活動についての支援・協力を推進する。	児童生徒 28人 17人 29人	通年 6/30～7/2 10/18～10/20 10/2～10/6	松島自然の家 志津川自然の家 蔵王自然の家
4	青少年教育施設ボランティア活動推進事業	青少年教育施設におけるボランティアの活用を図るとともに養成研修を実施する。	青年・成人 24人 27人 20人	通年	蔵王自然の家 泉が岳自然の家 松島自然の家

(5) 青年の地域活動支援（青年文化祭、青年体育大会の実施）

No	事業名	内容	対象	期日	会場
1	青年地域活動促進事業	青年の文化活動及びスポーツ活動を軸とした地域活動を推進し、真に豊かな地域社会の創造を目指す。 (1)地方青年文化祭 (2)宮城県青年文化祭 (3)宮城県青年体育大会 (4)全国青年大会	各市町村青年 県内青年 県内青年 県青年代表	9月～3月 6月11日(日) 8月5日(土)～6日(日) 19日(土) 11月10日(金)～13日(月)	各教育事務所管内7会場 大郷町文化会館 東松島市民体育館他 東京都(日本青年館他)
2	青年会館研修奨励事業	地域づくりに寄与できる青年の育成と青年団体指導者の資質向上を図る諸事業を実施する。 (1)青年地域交流事業 (2)青少年地域体験活動推進事業 (3)地域教育力支援事業	各種青年 小学4～6年生及び各種青年 県内地域親子	9月 7月、3月 通年	(財)宮城県青年会館

(6) 青年団体への協力・援助

青年団への加入率低迷の中で、団体間連絡の必要性がさげばれば、連絡協議会を結成し8団体が加盟している。

ア 地域青年団

地域青年団は、宮城県青年団連絡協議会をもって代表される。平成18年度登録団員数は、820人となっている。地方青年文化祭、県青年文化祭、県青年体育大会、全国青年大会を中心に協力・援

- 助を行っている。
- イ その他の青年団体
 地域青年団体以外の青年団体は、次に掲げる通りである。特に宮城県青年の船友の会からは、「少年の船」事業に対して指導団員の派遣など協力・援助をもらっている。
 宮城県農村青少年クラブ連絡協議会
 宮城県農協青年連盟
 宮城県商工会青年部連合会
 宮城県林業研究会連絡協議会
 宮城県友愛青年同志会

- 宮城県森林組合青年部連絡協議会
 宮城県漁協青年団体連絡協議会
 宮城県青年国際交流機構
 宮城県青年の船友の会
 宮城県青年海外協力協会
 宮城県ユースホステル協会
 伊達な翼の会

第4節 成人教育

1 女性教育

(1) 指導の要点

女性のライフスタイルの変化に伴う学習要求の多様化に対応した女性教育の学習機会の充実と、婦人学級・女性団体の自主的活動の促進を図った。

(2) 市町村における女性教育に関する学級実施状況

○学級講座数 383 参加者数 23,214人

(3) 市町村における女性ボランティア養成講座

○講座数 17 参加者数 914人

(4) 地域婦人団体の現状

県内では149単位団体、15,534人の会員を有する宮城県婦人団体連絡協議会は、青少年の健全育成、男女共同参画社会の実現、環境保全と資源の有効利用、高齢化社会への対応、世界平和の確立等の実現に努めることを目的とする全国組織を持つ団体である。

宮婦連の自主性を尊重しつつ、求めに応じて指導、助言、援助を行った。

2 家庭教育

(1) 指導の要点

心豊かなたくましい青少年の育成を目指し、家庭・学校・地域が持つ独自の教育機能の強化に努め相互の連携を図ることを目標とした。

ア 基本的な生活の場である家庭の在り方や、乳幼児期における家庭教育に関する学習の充実を努める。

イ 家庭教育に関する親の学習機会・内容の充実や情報提供などを推進するとともに指導者の確保を図る。

ウ 子供を取り巻くあらゆる人々を対象とし、特に男女が共に参加できる学習の場の提供と、保健衛生・福祉等関係機関との連携に努める。

(2) 事業

1 家庭教育子育て支援推進事業

① 趣旨

家庭教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う上で極めて重要な役割を担うものであり、学校教育・社会教育につながる生涯教育の起点でもある。特に心身両面で著しい発達を示す乳幼児期にその発達を促し、調和のとれた子供に育てていくことは親たちの大きな役割であり、果たすべき大きな課題である。

子育てを行っている親等が当面している家庭教育上の諸問題について必要な情報や学習機会を提供するとともに、子供を育てていく上で適切な助言や指導が行える相談体制の整備に努める等、生涯学習の基礎となる家庭教育の充実と振興を図る。

② 実施期間 4月1日～3月31日

③ 事業の対象

親、家族、保育従事者、青少年育成会担当者、社会教育主事、小中学校教諭等、家庭教育に関心をもつ者。これから親になる青年男女。

④ 事業内容

ア 家庭教育電話相談

「すこやか子育てテレホン相談」

月～金の10:30～16:00

*その他 FAXは24時間対応

イ 「子育てサポーター養成講座」

期 日 平成18年6月15日～10月19日まで5日間

25時間程度の研修、15時間程度の実技

会 場 宮城県婦人会館

内 容 地域の子育て支援者の養成

受講者 40人（内修了生39人）

2 家庭教育支援総合推進事業（文部科学省委託事業）

① 趣 旨

子育てサポーターリーダーの資質の向上を図るリーダーの養成、親等に対する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会を提供することで、家庭教育の充実を図る。

② 実施期間 4月1日～3月31日

③ 事業の対象

親、家族、保育従事者、青少年健全育成関係者、社会教育関係者、学校教育関係者、家庭教育の関心をもつ者、これから親になる青年男女等。

④ 事業内容

ア みやぎ地域家庭教育推進協議会 年5回

期 日 平成18年4月20日、7月27日、9月6日

12月5日、平成19年2月23日

イ 子育てサポーターリーダー養成講座

期 日 平成18年9月12日～10月26日まで4日間

受講者 修了生18名

ウ 子育てサポーターリーダースキルアップ講座

期 日 平成18年5月24日、平成19年1月31日

対 象 平成16年度子育てサポーターリーダー

エ 家庭教育推進事業

家庭教育「^{ファミリー}豊楽夢」（2会場で開催、185人参加）

（登米市、大衡村）

オ 市町村における家庭教育に関する事業・学級

（再委託先28市町村）

（ア）妊娠期子育て講座 (47回)

（イ）就学時健診等の機会を活用した子育て講座 (346回)

（ウ）思春期子育て講座 (179回)

（エ）明日の親になる中・高校生の子育て理解講座 (64回)

（オ）その他 (354回)

（カ）父親のつどい (33回)

3 お父さんの家庭教育参加促進事業

① 趣 旨

子育て中の親を中心に、県内各地で活動をしているお父さんたちの会のメンバーの協力を得て、父親の家庭教育に関する課題などを様々な視点から取り上げる学習機会の提供及び父親と子どもが遊びを通してふれあう交流事業を実施し、父親の家庭教育への参加を啓発する。

さらに、県内各地域で活動するお父さんたちの会の実態調査等を行い、データベース化して活動内容などを情報提供し、お父さんたちのグループのネットワークの形成を図る。

② 実施期間 4月1日～3月31日

③ 事業の対象

父親、および父親の家庭教育参加促進に関心を持つ者、これ

から親になる青年等

④ 事業内容

ア 企画・運営連絡会の開催

- 委員 5人（お父さんの会関係者，学識経験者等）
開催回数 年5回
協議内容 ・東北大会規模のフォーラムの開催について
・お父さんの学習会への講師紹介について
・各種調査について

イ みちのくおやじフォーラムinみやぎの開催

- ・宮城県内及び東北6県のおやじの会の情報交換，ネットワークの充実を図る。そして，さらに，東北6県のおやじの会のネットワーク化を図った。
・おやじの会による親子触れ合いの場を提供し，広く一般県民のおやじの会への関心を高めた。

ウ お父さんの学習会への講師紹介

県内各地で活動しているお父さんたちの会のメンバーの協力を得て，学習会への講師の紹介を行った。

エ 各種調査

- ①県内小中学校を対象とし，「おやじの会」についての調査を行った。
②平成17年度「出前学習会」事業効果についての調査を行った。

4 P T A

(1) 平成18年度宮城県P T A指導者研修会

ア 研究テーマ

- (1) 会員の研修活動に関するもの
(2) 学級，学年，地区P T A活動に関するもの
(3) 青少年健全育成にかかわる地域活動に関するもの

イ 期日・会場

7月～12月

宮城県P T A指導者中央研修会（仙台市）

宮城県P T A指導者地区研修会

高校6会場，特殊教育1会場

(2) 宮城県P T A連合会の主な事業

- ア 代議員会（仙台市）
イ 宮城県P T A研究大会栗原大会
ウ 地区セミナー（24会場）
エ 単位P T A会長会（大崎市）
オ 機関紙「P T Aみやぎ」の発行

(3) 宮城県高等学校P T A連合会の主な事業

- ア 総会（仙台市）
イ 「高P連会報」発行
ウ 事務局長研修会（仙台市）

(4) 優良P T Aの表彰

- ア 文部科学大臣表彰（3団体）
・宮城県迫桜高等学校P T A
・東松島市立赤井小学校父母教師会
・仙台市立東六郷小学校父母教師会

5 人権教育

(1) 平成18年度人権教育指導者研修会

人権に関する学習活動を推進するために必要な指導者の資質の向上と指導力の強化を図るため，市町村教育委員会成人教育担当者や社会教育施設及び学校教育関係者保護者等を対象に研修を行った。

- ア 期日 第1回 11月22日（水） 宮城県自治会館
第2回 12月2日（土） ふれあいエスプ塩釜
イ 内容 人権についての基調講演，シンポジウムの開催
ウ 参加者 第1回 34人，第2回 250人

第5節 視聴覚教育

学校・社会教育におけるメディアの積極的な活用を促進するとともに情報化社会に対応する教育内容・方法の充実と開発，人材の育成を図るため，視聴覚教育推進拠点及び推進体制の整備充実と研修の拡充を目標として掲げ，その具体化と実践化に努めた。

1 視聴覚教材センター（ライブラリー）の設置状況

(1) 県視聴覚ライブラリー

県の視聴覚ライブラリーは，県図書館内に併置され，地域視聴覚教材センター（ライブラリー）間の連絡調整・指導助言と一般県民に対する視聴覚教材等の提供などに努めた。

(2) 市町村の視聴覚教材センター（ライブラリー）

地域視聴覚教材センターは，完全公立化（一部事務組合4・単独4・協議会2）され，視聴覚教育推進拠点となっている。人的体制・予算措置などに格差がみられ，事業の展開にも影響がでているので，各センター間の連携を強め相互援助を図る中で視聴覚教育の普遍化を目指し，地域の総合的な学習情報機能をもつよう努めた。

2 事業

(1) 自作視聴覚教材コンクール

ア 事業の目的

視聴覚教材の自作を通じた個人・グループの自主的学習活動の成果を発表する機会を設け，視聴覚センター・ライブラリー機能の拡充と視聴覚教育の振興を図る。

イ 事業概要

- ・とき 2月17日（土）
・ところ 宮城県図書館

県内10の視聴覚教材センターの予選を経て学校教育及び社会教育の学習教材が出品された。（4部門 32点）

(2) 視聴覚教育メディア研修（研修カリキュラムⅡ基礎コース）

「視聴覚メディア研修カリキュラム標準案」に基づいた研修

ア 総論・A 8月17日，B 8月18日

イ 会場 宮城県図書館 受講者 17人

ウ 内容 総論，教育メディア各論，教育メディア特講

第6節 宮城県図書館

1 平成18年度宮城県図書館基本方針・目標

(1) 基本方針

県図書館に収蔵される先人の叡智の集積を活用し、未来へ伝えることを通じて、宮城の輝かしい発展、活力ある日本の再生に貢献する「22世紀を牽引する叡智の杜づくり」を積極的に進める。

(2) 目標

- 1 県図書館の過去700年にわたる「叡智」の集積を最大限に生かし、次代を担う人々に拠って立つ故郷の薫り高い歴史や文化を伝えると共に、全国に発信するための環境整備を行なう。
- 2 生涯学習の拠点・県域の資料保存センターとして必要な資料の収集・保存、継承に努めると共に各種サービスの向上を図る。
- 3 全ての県民が図書館サービスを楽しむことができるように、市町村へ積極的に支援する。
- 4 高度情報社会に対応したサービスの向上を図るため、コンピュータやネットワーク技術を積極的に活用し、図書館サービス網の整備を促進すると共に情報機器を使いこなす能力向上に努める。
- 5 県民の学習・調査研究・企業のビジネス活動・子ども読書活動の推進に努める。
- 6 時代の変化や県民の学習ニーズに対応した生涯学習事業の推進に努める。
- 7 生涯学習・情報発信の中核施設として施設の整備、人材育成に努める。

(3) 施策と事業

- 1 22世紀を牽引する叡智の杜づくり
 - (1) 古絵図・古地図・貴重図書の修復・保存
 - (2) 国・県指定文化財のデジタル化及びレプリカ作成
 - (3) 国・県指定文化財のインターネット公開
 - (4) 宮城県図書館貴重資料の宮城県文化財指定に向けての環境整備
 - (5) 次世代を担う人材育成のために、貴重資料、古典、名作等の複製資料の高等学校等での移動展示
- 2 図書館資料等の整備充実・利活用
 - (1) 図書館資料の広範な収集及び整備保存の充実
 - (2) 図書館サービスの充実
- 3 調査研究と相談機能の充実及び生涯学習機会の提供
 - (1) レファレンスサービスの充実
 - (2) レファレンス事例集等の作成配布
 - (3) インターネット等による調査研究機能の整備
 - (4) 図書館ボランティア活動の支援
 - (5) 各種講習会、上映会、子どもの本展示会、おはなし会・紙芝居上演会等の開催
 - (6) みやぎ子ども読書活動推進計画に基づく学校支援、総合的な学習への支援
- 4 市町村図書館等への活動支援と職員研修の充実
 - (1) 図書館協力車運営事業の推進と公共図書館連絡会議の開催
 - (2) 図書館の整備・運営に関する助言
 - (3) 公共図書館等職員研修会等の開催
 - (4) 図書館間の相互協力体制の強化と充実
 - (5) 宮城県図書館協会、北日本図書館連盟等との連携・協力
- 5 宮城県図書館情報ネットワークシステムの整備・充実
 - (1) 図書館情報ネットワークシステムの拡充

- (2) インターネットでの蔵書検索サービス等の提供、ホームページの公開、インターネット端末の館内利用
- 6 生涯学習事業の推進
 - (1) 生涯学習相談事業の実施
- 7 管理・運営体制の充実
 - (1) 施設設備の整備
 - (2) 各種媒体を活用した広報活動の充実
 - (3) 司書等専門職員の養成と確保
 - (4) 宮城県図書館協会の開催

2 事業予算

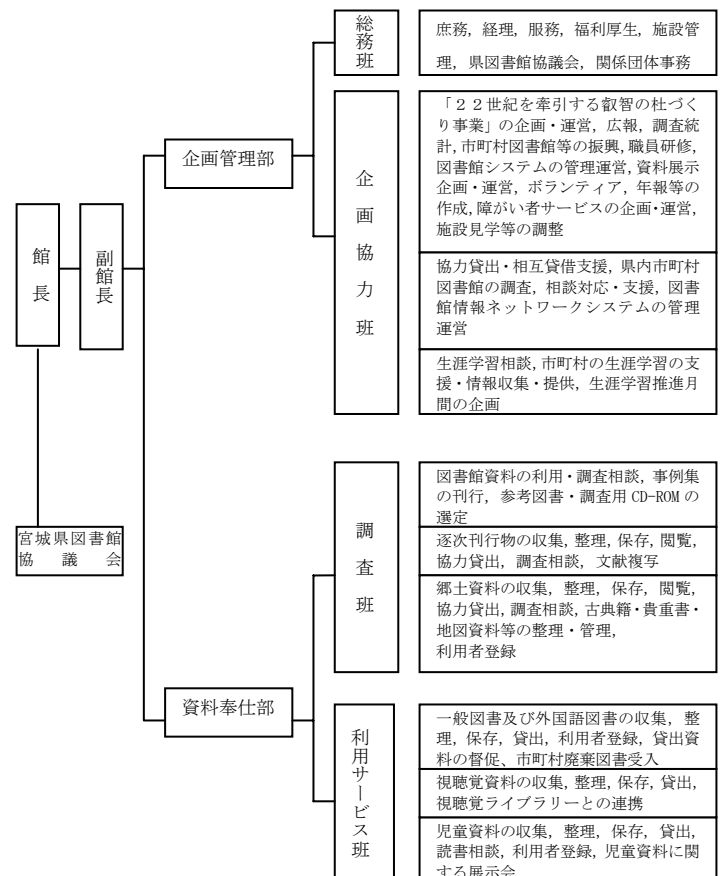
(単位：千円)

区分	当初予算額	概要
管理経費	250,610	本館の運営維持費 (定員内職員の人件費を除く)
図書館協議会	451	図書館協議会運営費
図書館運営費	21,438	機器使用料、消耗品等に要する経費
市町村支援費	92,575	市町村図書館・公民館図書室の支援に要する経費
企画広報費	1,105	主催事業、広報等に要する経費
資料購入費	58,269	資料購入費
貴重資料保存修復事業費	24,416	本館所蔵貴重資料の修復、写真撮影、デジタル化及びレプリカ制作等に要する経費
合計	448,864	

3 職員組織及び事務分掌

(1) 組織及び事務分掌

(平成18年4月1日)



(2) 職員数 () : 司書・司書補有資格者内数

職名	館長	副館長	部長	次長	主任主査	主査	主事	計	嘱託員	相談員	臨時職員	計	
人数	1	1	2	2	5	6	5	18	40	18	2	25	45
	(0)	(0)	(0)	(1)	(2)	(4)	(1)	(10)	(18)	(17)	(3)	(20)	

4 宮城県図書館協議会

(1) 第28次宮城県図書館協議会委員名簿

(任期：平成18年3月1日～平成20年2月29日)

氏名	役職名	備考
1 秋月 治	宮城大学事業構想学部教授	
2 埴浦 功夫	仙台市民図書館長	
3 石田 義光	東北学院大学文学部教授	会長
4 遠藤 幸生	宮城県古川黎明中学高等学校長	
5 野家 啓一	東北大学副学長・付属図書館長	
6 渡辺 好子	公募	
7 関口 裕子	ハートandアート空間B E I 代表取締役	
8 永野 為和	河北新報社取締役	副会長
9 二瓶瑠璃子	加美町中新田図書館副館長	
10 齊藤 弘子	NHK泉文化センター講師	

(2) 第28次宮城県図書館協議会開催状況

第1回 平成18年6月6日(火)

・報告事項 平成17年度利用状況及び平成18年度主要事業について

第2回 平成18年9月7日(木)

・協議事項 「宮城県図書館の利用サービス」について

第3回 平成18年12月7日(木)

・協議事項 「宮城県図書館の利用サービス」について
・報告事項 平成18年度主要事業の進捗状況について

(3) 平成18年度宮城県公共図書館協議会連合会代表者会議

期日 平成18年8月2日(水)

・報告事項 平成18年度北日本図書館大会宮城大会について
・情報交換等

5 実施事業の概要

(1) 企画協力班

イ 「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」

本館の総合戦略プロジェクト「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」の事務局として、本事業の2つの柱である「貴重資料の修復保存事業」と「次世代育成プロジェクト」の企画立案、運営を行いました。全職員参加のもと、市町村図書館、公民館図書館、学校、地域社会との連携を図りながら事業を推進し、高等学校授業での貴重資料レプリカ活用や司書によるチームティーチングにも取り組みました。

(※本事業の概要と平成18年度実績については、「6 22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」として掲載しました。)

ロ 広報活動

・宮城県図書館だより『ことばのうみ』第22号から第24号まで、年3回発行し、一般県民をはじめ県立学校、大学等の関係機関及び都道府県図書館等に配布しました。
・ホームページでは、「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」で作成した、『仙台領国絵図(相馬)』の高精細画像を公開するほか、利用に関する各種情報の発信を行いました。
・地元FM局(エフエム泉)で毎月第二木曜日の地域情報コーナーに本館職員が出演し、企画展・イベント等の広報を行いました。
・一般県民の施設見学、小中学校・高等学校の児童・生徒による調べ学習、職場体験などを行い、69団体(延べ1,979名)を受け入れ、図書館理解と利用の促進を図りました。

ハ 市町村図書館・公民館図書室等への支援

・県民の図書館サービス享受を実現するために、市町村図書館・公民館図書室への資料提供(本館所蔵資料の協力貸出)

を行いました。協力貸出冊数は24,451冊で、県内市町村図書館・公民館図書室等に23,120冊を貸出し、前年度比3%増となりました。

・協力貸出資料(相互貸借資料を含む)の配送は、協力車での配送を廃止し、平成18年度から宅配便で実施することとし、各市町村図書館、公民館図書館等に宛てて、毎週水曜日(年間53回)に発送しました。

・市町村図書館の運営支援、情報提供のための巡回相談事業は、20館を対象に、各館あたり年間3回の巡回を基本としました。巡回コースは20館を7コースに分けて実施し、延べ21日間行いました。栗原市、美里町など合併市町村の図書館は重点的に訪問しました。

・市町村図書館との連携を強化するため、公共図書館連絡会議を2回(5月と11月)開催しました。会議では、気仙沼市、美里町など市町村合併後の図書館サービスの現状と課題について、また宮城県図書館情報ネットワークシステム(MY-NET)活用方法等についての協議も行いました。

ニ 市町村図書館・公民館図書室職員研修会

・市町村図書館及び公民館図書室職員等の資質の向上と専門知識の習得等を図るために、初任者研修会、公共図書館等館長研修会、職員研修会1・2を開催しました。研修会の実施にあたっては、「図書館サービス計画立案」「アニメーション」等のワークショップを取り入れました。平成18年度の新規事業として、公民館図書室担当職員研修会を行いました。

ホ 宮城県図書館情報ネットワークシステム(MY-NET)の整備・充実

・MY-NETの新規加入は、9月に開館した美里町南郷図書館で、参加館は40館となりました。インターネット公開の県内総合目録は亶理町立図書館が登録、参加館15館となりました。

ヘ 図書館未設置町村への図書館振興策

・図書館の設置や利用促進の気運を醸成するために、5月の「図書館振興の月」にちなんで、大和町において宮城県図書館振興講演会を開催しました。地元大和町の語り部・佐藤とし子さんによる民話や協力貸出デモンストレーション、本館貴重資料(レプリカ)展示会なども行いました。

・平成18年3月末現在図書館未設置状態が解消されない、大和町、松島町、色麻町など3町村の公民館図書室を訪問し、現状と諸課題等のヒアリングを実施しました。

ト ボランティア活動支援

・社会教育施設でのボランティア活動の機会を広げるために、ボランティア募集を行いました。新規登録は39人で、ボランティア登録者は延べ119人となりました。全体研修会のほか、活動内容ごとの専門講座を、書架整理(登録者39人)、視聴覚整理(同17人)、読み聞かせ(同16人)、音訳(同26人)、展示室案内(同21人)を実施しました。

・文化庁より「平成18年度文化ボランティア推進モデル事業の委嘱をうけました。白石市図書館、多賀城市立図書館、加美町中新田図書館等と、ボランティア同士の情報交換、合同研修会などを実施し、交流を図りました。

・本館創立12.5周年記念事業の一環として実施した、東北大学附属図書館との合同企画展「江戸の遊び」(会場：せんだいメディアテーク)に本館図書館案内ボランティアが参加し、受付、案内係などを担当しました。

チ 生涯学習相談業務

県民の主体的・自発的な学習活動を支援するため、必要な情報を提供するとともに、学習者が直面する様々な問題や悩みの解決に向けて助言等を行いました。相談件数は年間1,506件(面接相談1,301件、電話相談205件)で、生涯学習室への入室者数は4,759人となりました。また、県内の生涯学習サークルの作品を展示紹介しました。

リ 生涯学習推進月間事業

10月の1ヶ月間を通して、宮城県図書館の特徴を生かしながら生涯学習に関する6種類の行事を行いました。生涯学習推進講演会「笑っていきいき」、植物画作品展、折り紙作品展示会など、多くの県民の方々にご参加いただきました。

(2) 調査班 調査相談担当

イ レファレンス業務

・利用統計

今年度の個人レファレンス総件数は11,960件で、前年度比約16%増となりました。依頼内容の傾向としては、依頼内容に偏りは無く、全般的で広範囲に及びました。図書館間の協力レファレンス依頼は、県外10件を含む112件(前年度比約34%減)となりました。協力レファレンス(県内・県外からの調査依頼)件数の減少の原因としてはインターネットの利用が挙げられると思われます。

・レファレンスのデータベース

昨年度まで作成していたレファレンス事例集「としょかん質問箱」に代わり汎用性を持たせた事例のデータベースとして整備中です。

ロ 協力借受

利用者の希望により、県内外から本を借受した件数は750件(県外146件を含む)。この中には、郵送貸出者(障害者サービス利用者)への郵送12件を含みます。

ハ 電子図書の活用

・電子図書の状況

電子図書の利用は前年度比18%増593件の利用がありました。当館が提供するデータベースのうち最も利用頻度が高い東京商工リサーチの『CD・Eyes50 TSR 企業情報ファイル』は、1回あたりの利用時間が長時間になることが多いようです。そのため、利用件数の増加には反映されませんが、利用時間を見ると、毎年更新後の6月から夏にかけては一日中ご利用されるケースも多く見られます。また今年度は「データベース講習会」として『CD・Eyes50 TSR 企業情報ファイル』と『判例体系』の利用講習会を5回開催したことで利用促進につながったと思われます。

・インターネットの利用状況

調査相談カウンターではインターネット利用者端末は3台あります。3台での今年度の利用は8,280件、これは端末機1台/日当たり9.7回の利用状況になります。

(3) 調査班 逐次刊行物

イ 整理状況

- ・継続受入タイトルとして、2,732タイトル(購入880タイトル、寄贈1,852タイトル)を受け入れ、整理しました。
- ・地域の資料保存センターとして、県内市町村図書館からの廃棄雑誌を342タイトル、3,381冊受け入れ、整理しました。

ロ 利用状況

- ・調査相談件数(館内案内含む)は口頭・電話・Eメール・FAX等合わせて3,783件で、前年度比1,176件の減となりました。
- ・閉架書庫資料の出納冊数は4,605人(件)55,490冊(前年度比5,647冊減)、複写枚数(マイクロフィルムからの複写を含む)は59,091枚(前年度比4,568枚減)となりました。
- ・データベース利用件数は河北データベースが306件(前年度比26件減)、朝日新聞データベースは176件(前年度比15件増)、官報は31件(前年度比24件増)、雑誌記事索引・企業情報等のCD-ROMが178件(前年度比86件減)の利用がありました。
- ・当館で所蔵していない資料の他館(国立国会図書館・大学図書館等)への複写依頼件数は521件(前年度比224件増)でした。また、他機関から当館への依頼は495件(前年度比150件増)でした。

- ・障がい者サービスでは、新聞のコラム、川柳、経済指標、テレビ・ラジオ欄、将棋および週刊誌の記事の電話音訳が延べ137人(前年度比20人減)、点字雑誌の貸出利用は延べ46人118冊(前年度比19人・34冊増)となりました。
- ・マイクロフィルムのリーダー・プリンターの利用者は延べ1,289人(前年度比175人増)でした。

ハ その他

- ・今年度も県内公共図書館の逐次刊行物の購入状況を調査し、「県内公共図書館 雑誌・新聞購入一覧」を作成・配布しました。
- ・雑誌の配置を見直し、基本的な統計関係資料バックナンバーの開架への移動、雑誌復刻版の配架スペースの拡張、書架見出しの改善等を行い、サービスの向上を図りました。
- ・ビジネス支援コーナーについては、資料の配架をテーマごとに改めました。また、関係機関・団体・金融機関等から積極的に資料を収集・配架し、コーナーの充実に努めました。
- ・各種企業・団体のCSR報告書290社分(前年度比130社分増)を収集し、配架しました。

(4) 調査班 みやぎ資料室

イ 宮城県指定有形文化財指定

- ・以下の本館所蔵資料が指定有形文化財に指定されました(平成19年2月16日)。

書跡典籍

『宮城県漁具図解および略解』	2帖
『関算四伝書』(写本)	507冊

(数度衍及び寄贈資料33冊の追加による員数変更)

ロ 貴重資料専門調査事業

- ・県文化財指定に向け、4名の専門調査員による本館所蔵資料の詳細な調査・評価を行い、報告書を作成しました。調査は延べ17日間実施しました。

ハ 整理状況

- ・図書は1,501冊(購入598冊、寄贈899冊)、地図は4枚(購入)を整理しました。また、古書2冊(購入)を整理しました。
- ・逐次刊行物は、継続タイトルの整理に加えて、新規に雑誌84タイトル、行政資料32タイトルを受け入れ整理しました。

ニ 利用状況

・調査相談件数

調査の内容は郷土史や地誌に関するものが多く、県内のみならず全国からも多数の照会がありました。

依頼区分	口頭	電話	文書	メール	協力レファレンス	計
件数	6,352件	1,247件	150件	98件	57件(県内34, 県外23)	7,904件

注:「協力レファレンス」は県内公共図書館・公民館図書室からと県内図書館からの調査相談

ホ 資料の利用状況

- ・閉架書庫資料の利用は図書2,299冊、逐次刊行物4,080冊、古書2,557冊、古書複製本65冊になりました。
- ・複写サービス(マイクロフィルム、カラーコピー含)の利用は3,692人で59,879枚、資料保存上電子複写ができない古書等の写真撮影(カメラは利用者持参)は48人、1,796冊、20,275コマでした。
- ・古書の特別利用は合計117件1,515冊に上りました。博物館等の展示への特別貸出は22件79冊、出版物への掲載等53件157冊、写真撮影40件1,276冊(ビデオ含)、テレビ放映等が2件3冊でした。
- ・郷土関係論文目録をWeb公開し(平成19年3月1日開始)、当館ホームページより検索可能になりました。全収録件数は22,608件。今後も定期的にデータ更新をします。

(5) 利用サービス班 一般図書

イ 利用状況

- ・今年度の貸出冊数は、585,342冊となり前年度より2,495冊

減少しました。

- 個人利用者の年間新規登録者数は10,423人で、年度末現在の登録者総数は215,114人になりました。
- 障がい者サービスとしての一般図書の郵送貸出は、年間281件1,133冊の利用でした。

ロ 資料整理状況

- 購入9,310冊、寄贈1,464冊の受入・整理を行いました。
- その他
- 中学生・高校生の総合的な学習の時間における職場体験学習として7件、21人を受け入れました。
- 特別整理期間には、全ての開架資料についての蔵書点検作業を実施しました。

(6) 利用サービス班 視聴覚資料

イ 利用状況

平成18年度の個人貸出点数は192,006点（平成17年度200,939点）で、昨年度と比べ8,933点の減となっています。開館日1日あたりの貸出点数は673.7点で昨年度と比べ28点の減となっています。

媒体別に見ると貸出点数の49%がビデオテープ、46%がCD、4%が楽譜となっています。

障害者サービスとしての朗読テープ、ビデオ、CDの郵送貸出数は1,412点で、前年度比270点の増になりました。

ロ 資料整理状況

今年度の購入資料点数は329点で、ビデオテープ（110点）、DVD（174点）、CD（42点）を中心に県民の学習ニーズ、教育の今日的課題、保存の必要性（郷土資料を含む）の視点から収集、受入・整理を行いました。

また、寄贈資料を含めて、670点の整理を行いました。

ハ 館内視聴サービス

本年度の利用状況は第5-14表のとおりでした。利用者数で前年度比1,665人減となっています。開館一日あたりの利用者数は約159人です。

ニ 上映会、LDコンサート

年間51回の上映会を実施し、734人の参加者がありました。1回当たりの参加者数は14.4人でした。

ホ 音楽鑑賞講座

クラシック音楽に関する講義と鑑賞、在仙演奏家によるミニコンサートを併せて実施しました。100人の申込みがあり、当日は87人の参加がありました。

ヘ その他

宮城県視聴覚ライブラリーとして、宮城県視聴覚教育連絡協議会に参加し「視聴覚教材・機材利用状況調査」の刊行や「宮城県自作視聴覚教材コンクール」の運営支援を行いました。

第5-14表 館内視聴ブースの利用受付件数・利用者数

年度	受付総数 (件)	資料別内訳						利用者数 (人)
		ビデオ	LD	CD	CD-ROM	DVD	その他	
18	32,391	12,534	1,253	164	152	18,252	36	43,654
17	32,999	12,740	1,222	126	230	18,647	34	45,319
16	35,077	13,487	1,517	216	354	19,464	39	48,331

(7) 利用サービス班 児童資料

イ 利用状況

- ・就学前の子どもの登録は989人で、前年度に比べて153人の増となりました。
- ・学校からの文書による申請があった「調べ学習」は、中学校5校、高等学校1校、延べ265人の利用がありました。また、「職場体験学習」は、中学校3校、高等学校は2校、延べ19人の受入をしました。
- ・児童文化資料(宮城県立保育専門学院からの寄贈)の貸出は、33団体、延べ159点の利用がありました。

ロ 資料整理状況

- ・寄贈本等の受入をしました。
- ・貸出用図書(閉架)の配架整理並びに2階(閉架)書架の図書約2,300冊を4階に移動し、配架整理をしました。
- ・小学生・中学生新聞2紙の整理・製本をしました。

ハ 行事・その他

- ・第37回子どもの本展示会を4月21日～5月7日まで開催し、延べ1,150人の入場者がありました。また、県内公共図書館・公民館図書室のうち希望機関への移動展示会を行い、20会場で延べ4,834人の入場者がありました。
- ・小学校への移動展示会は、希望校52校で開催、入場者は8,079人ありました。
- ・「ブックツリーカード」読書記録カードの配布をしました。
- ・「おすすめの本1冊」を募集。年2回子ども図書室に掲示紹介をしました。
- ・職員による「おはなし会・紙芝居の上演会」を月1回、実施しました。
- ・こどもの本展示会の期間中に展示会場に「1年間に貸出しの多い絵本と読み物の本の紹介」を掲示しました。また、展示会終了後、こども図書室に掲示しました。
- ・月1回発行の子ども図書館だより「子どもの森・本のいずみ」を手作りで発行(92号～103号)しました。また、号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った本を紹介しました。来館者及び県内図書館等に配布、ホームページにも紹介をしました。

6 22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業

1 事業の概要と平成18年度の実績

この事業は、宮城県図書館に継承された知の集積を活用し、次代を担う人たちに自信と誇りをもって語れるふるさとや日本の歴史や文化をしっかりと伝えていこうとする、総合戦略プロジェクトです。「貴重資料修復保存事業」と「次世代育成プロジェクト」の2つの部門に合計12のメニュー(事業)を設け、平成16年度を初年度に15カ年の長期計画を立てています。

「貴重資料修復保存事業」は、①貴重資料の体系的学術調査、②国・県有形文化財の指定に向けた準備、③修復保存・レプリカの作成、④修復成果品・レプリカの公開の4つのメニューで構成されています。

本館特殊コレクションである「伊達文庫」「養賢堂文庫」「青柳文庫」等の古典籍(総計約57,500冊;和古書およそ38,000冊、漢籍・韓書19,000冊、古洋書500冊)などの貴重資料を対象に実施し、平成18年度には『宮城県漁具図解及び略解』(1件2点)と『関算四伝書』(追加指定33点)の計1件35点が県有形文化財の指定を受けました。『仙台領国絵図』等の修復を行い、レプリカを作成しました。本事業の成果は3月に本館で公開し、あわせて、秋田県立図書館(秋田市)において貴重資料(レプリカ)展示会を開催しました。

「次世代育成プロジェクト」は図書館の知的財産、人的資源を活用し、22世紀のふるさと・みやぎを牽引する人材を育てようとする事業で、①古典・浮世絵への誘い(対象;高校、市町村)、②名作への誘い(同)、③子どもの本の移動展示会(市町村、小・中学校)、④文化財レプリカの移動展示会(高校・市町村)、⑤閉架書庫の見学(市町村、学校司書)、⑥本館紀要『叡智の杜』への市町村、学校司書の参加(市町村、学校司書等)、⑦貴重図

書等の企画展示会(一般)、⑧プロジェクト22(一般)など8つのメニューで構成されます。

これらのメニューの実施にあたっては、それぞれ図書館、教育現場、地域社会への三者による連携を描いています。

以下に、プロジェクトごとに各メニューを概説します。

2 貴重資料の修復・保存プロジェクトー4つのメニューのあらまし

(1) 貴重資料の体系的学術調査

他の事業よりも早く、平成15年度を初年度として第1次調査が実施され、『禽譜』『関算四伝書』等についての評価を行い、報告書を作成しました。平成16年度の第2次調査は、朝鮮古刊本、『環海異聞』など。平成17年度の第3次調査は『宮城県漁具図解及び略解』などを対象に実施し、平成19年2月の県有形文化財指定という結果に活かされました。平成18年度の第4次調査では、東亜大学教授・川村博忠氏ほか計4名の専門調査員により、『国絵図』、和算関係資料、郷土資料などを対象に調査、報告書を作成しました。

(2) 国・県有形文化財の指定に向けた準備

本館所蔵貴重資料を対象に、(1)の「貴重資料の体系的学術調査」の調査報告等に基づき、国・県有形文化財指定への準備を進めるものです。平成15年1月に『禽譜』『関算四伝書』等、9件816点が本県有形文化財に指定されたことをはじめとし、平成15年7月には『仙台城下絵図』『伊能図』等、11件970点が、平成16年6月には朝鮮古刊本46部262点、平成17年7月には『環海異聞』、本県出身の英語学者・斎藤秀三郎の自筆原稿など6件38点、平成19年2月には『宮城県漁具図解及び略解』1件2点など計35点(33点は追加指定)が指定され、平成19年3月末現在、指定文化財の数は28件2,121点となっています。

一方、国の重要文化財については、平成2年に『坤輿万国全図』が指定を受けています。平成17年度は、3月の文化審議会を経て、「街頭紙芝居」5,333巻(201タイトル、52,925枚/井上藤吉氏旧蔵)、「印刷紙芝居」312巻(286タイトル、4,150枚)、紙芝居映写機用スライド4巻(4タイトル、19枚)、紙芝居映写機1台、街頭紙芝居舞台1台、太鼓1張など、紙芝居資料5,652点が、国の登録有形文化財(美術工芸品)として登録されました。

(3) 資料の修復・保存とレプリカの作成

本館収蔵の貴重資料の損傷を修復し、写真撮影、高精細画像データとレプリカを作成するもので、平成16年度から15カ年の長期計画により進めてきました。修復にあたっては文化庁の指導のもと、京都国立博物館文化財保存修理所において、国宝修理装演師連盟の手によって行われています。平成18年度は『仙台領国絵図』『仙台領海際絵図』等の絵図類13舗を修復し、『仙台領際絵図(相馬領境)』1舗のレプリカを作成しました。合わせて写真撮影を行い、デジタルデータ(画像)も制作しました。

(4) 修復成果品・レプリカの公開

「貴重資料修復保存事業」の成果と意義、及び貴重資料の価値を広く県民に公開することを目的に、本館展示室、県庁ロビーにおいて、修復成果品やレプリカの展示会を実施するとともに、本館ホームページでデジタルデータを公開しています。

平成18年度は、『仙台領国絵図』『仙台領際絵図』等のレプリカ展示会を本館で行いました。また、同資料のデジタルデータは本館ホームページの「叡智の杜Web」で公開しました。

3 次世代育成プロジェクトー8つのメニューのあらまし

(1) 「古典・浮世絵への誘い」一県内高等学校等を会場とした古典文学複製本の巡回貸出

高等学校の授業にも登場する『源氏物語絵巻』『徒然草』等、古典文学の複製資料約5点を1セット(全7セット)とした巡回貸出を実施しています。

平成18年度高校では松山高等学校、仙台第三高等学校など9校で実施し、このうち築館高等学校では『源氏物語絵巻』(複製資料)を活用した授業が実践されました。市町村では河南公民館(石巻市)、金成教育センター(栗原市)の2施設で開催されました。

「浮世絵への誘い」として、『東海道五十三次』『富嶽三十六景』等の複製資料を1セット(全14セット)とした展示資料貸出事業を新設しました。佐沼高等学校、石巻好文館高校な

ど7校で実施し、仙台白百合学園高等学校では『長崎古版画』を使った授業が行われました。このほか、登米市教育委員会東和事務所、宮城県原子力センター（女川町）など6施設で展示会が開催されました。

(2)「名作への誘い」－県内高等学校等を会場とした近代文学複製本の巡回貸出－

夏目漱石の『吾輩は猫である』、芥川龍之介の『羅生門』、石川啄木の『悲しき玩具』等、近代文学を代表する作品（初版本）の複製本40冊を1セット（全2セット）とした巡回展示で、名作を美しい装丁とともに鑑賞する機会を設けました。平成18年度は仙台東高等学校と金成教育センターで開催しました。

(3)「子どもの本の移動展示会」

毎年、本館、市町村図書館、公民館図書室において開催してきた「子どもの本の展示会」について、会場を県内小・中学校にまで拡大して実施するものです。現在、本県では子ども読書推進計画を実施しており、同計画の趣旨を踏まえ、次代を担う子どもと本との出合いの機会を、より多くつくる試みです。

平成18年度は、市町村図書館、公民館図書室では計20館で開催され、入場者数は4,834人、また小学校52校でも開催され、入場者数は8,079人となりました。

(4)「文化財レプリカの移動展示会」－県内高等学校・市町村図書館等を会場とした文化財レプリカの移動展示会－

本館貴重資料・文化財レプリカの移動展示会を、県内高等学校、市町村図書館等を会場に開催し、みやぎの叡智を身近に鑑賞する機会を提供する事業です。

平成18年度は、大崎生涯学習センター（大崎市）、加美町中新田図書館など16会場において、『坤輿万国全図』『禽譜』等レプリカの展示会を開催しました。仙台第三高等学校、迫桜高等学校では、文化財レプリカを活用した授業が実施され、生徒たちと文化財のふれあいの場をつくることができました。

また、『環海異聞』のパネル展示会を浦戸ブルーセンター図書室（塩釜市）、気仙沼市図書館唐桑分館の開館記念行事として開催し、本館館長による記念講演会も行いました。人事交流を契機として、秋田県立図書館においては、本館貴重資料（レプリカ）展示会を開催し、展示解説、記念講演会等も行いました。

(5)「閉架書庫の見学」－市町村図書館・県内高等学校の司書等を対象とした閉架書庫見学－

県内高等学校の図書館司書等を対象に、教育の場において、約100万冊におよぶ本館資料の活用を促すことを目的に実施しています。本館職員の案内のもと、閉架書庫の見学を行い、図書館利用についての意見交換を行っています。

平成18年度、宮城県志津川高等学校の教員と生徒計26名のほか、角田市図書館職員、宮城県高等学校図書館研究会司書部会職員など9団体（計181名）が閉架書庫を見学し、本館資料と機能についての理解を深めました。

(6)宮城県図書館紀要『叡智の杜』への寄稿－市町村図書館・県内高等学校の司書による寄稿－

市町村図書館職員、学校図書館司書との連携を強化し、相互にレベルアップを図るため、論文、研究レポート、読書活動の事例報告などについて、本館紀要『叡智の杜』への寄稿を促すものです。

『叡智の杜』は平成15年度に創刊され、平成18年度の第4号においては、「市記念事業への図書館の取り組み～特集展示の実施～」（岩沼市図書館司書）、「感動を呼んだ古典絵巻物」（松山高等学校司書）、「レファレンスサービスのシンボルマークについて」（秋田県立図書館司書）等、11名から寄稿がありました。

(7)貴重資料等の企画展示会

県指定有形文化財等の本館貴重資料は、本館展示室を会場に、特別展示会「きらめく叡智と美のしづく展」としてシリーズで開催しています。これまで、第1回・平成15年2月に『禽譜』『関算四伝書』等の伊達文庫収蔵貴重書を中心に紹介、第2回・平成15年5月に『仙台領国絵図』『伊能図』等の古地図類を展示、一般公開しました。

平成18年度は第6回を開催し、県指定有形文化財『宮城県漁具図解及び略解』『仙台領際絵図（相馬領境）』等の展示を行いました。

また、平成16年度に本館職員の自由な発案を活かした企画展示会をスタートさせましたが、平成18年度は、『戦争中の少女たち～10代の少女が経験した戦争～』『マップ・トリップ～地図からはじまる知的旅行』等、6回の開催となりました。

(8)「プロジェクト22」－宮城県図書館活用推進事業－

平成16年度にスタートした新規プロジェクトで、図書館職員が日々の業務を通して培った知識・技能をもとに、図書館資料、施設を活用して各種の行事を企画、運営するものです。本館職員による6つのチーム（各3～6人）を編成し、次のような行事を実施しました。

▽Aチーム：「パソコン・はじめの一歩～マウス・キーボード操作からインターネットまで」/パソコン初心者を対象に、マウス、ワープロソフト等の基本操作からインターネットでの本館蔵書検索まで、実習講座を行いました。7月に実施し、10名の参加がありました。

▽Bチーム：『えほんであそぼう～読書が楽しくなる2つのゲームをとおして～』/「読書へのアニマシオン」の一環として、「ことば遊びの絵本で楽しもう」等の活動を通して子どもたちに読書の楽しさを味わってもらいました。保護者の方には読書手法を紹介しました。8月に実施、参加は32名でした。

▽Cチーム：「平間至×B I K K Eトークライブ～その先のHi-Bi～」/宮城県出身の写真家・平間至氏とミュージシャン・B I K K E氏を招いて、「写真と言葉」をテーマにしたトークライブを行いました。参加は県外からの参加者も含めて121名。平間至氏の写真展も同時開催しました。

▽Dチーム：「みやぎの食材今昔」/「食材王国みやぎ」の豊かな食文化、郷土料理などを、古典籍や県政ニュース（フィルム）等の本館所蔵資料に基づいて紹介しました。また「食の文化祭（加美町）」や「捕鯨」の漁法などにもスポットを当てました。12月に実施し、41名の参加がありました。

▽Eチーム：「紙を作ろう」/「本」の素材として用いられている「紙」について、紙漉きを体験してもらうことにより、本への理解を深めることをねらいとしました。1月に実施し、参加者は10名でした。

▽Fチーム：「企画展：マップ・トリップ～地図からはじまる知的旅行～」/様々な視点から作成された地図資料を展示し、1月～3月まで開催。ギャラリー・トークには10名が参加。『坤輿万国全図』（国指定重要文化財）の原本特別公開（2月10日）には延べ314名の観覧者がありました。

以上、「プロジェクト22」の6つの企画に加えて、前年度の成果を踏まえて、「図書館ツアー」と「OPAC（館内蔵書検索機）講習会」を定例化して隔月実施しました。図書館ツアーは計5回で、延べ80名の参加がありました。「OPAC講習会」と「データベース講習会」は各5回実施し、延べ27名が参加しました。

「プロジェクト22」における取り組みは、県民の図書館理解を促す機会となりましたが、同時に職員の意識向上、組織の活性化を図る好機ともなりました。

7 平成18年度図書館資料利用状況等（統計）

(1) 受入資料一覧表

図書・視聴覚資料

(現在高=平成19年3月末の蔵書数)

区 分	購 入	寄 贈	そ の 他	合 計	除 籍 等	引 増 減	現 在 高
一 般 図 書	9,310	1,464	125	10,899	1,394	9,505	641,189
洋 書	1	13	246	260	5	255	17,033
ハングル資料				0		0	1,299
中 国 書				0		0	5,795
郷 土 資 料	598	899	4	1,501	12	1,489	54,340
和 古 書	2			2		2	38,417
漢 籍				0		0	18,886
地 図 資 料	4			4		4	9,595
貸 出 用 児 童 書	2,361	21	9	2,391	55	2,336	60,028
保 存 用 児 童 書	2,535	50	1,028	3,613	3	3,610	82,846
貸 出 用 紙 芝 居	12			12		12	725
街 頭 紙 芝 居				0		0	5,333
教 育 紙 芝 居				0		0	1,473
電 子 図 書				0		0	922
マイクロフィルム				0		0	16,105
館 外 用 図 書				0	1,023	-1,023	10,416
図 書 資 料 小 計	14,823	2,447	1,412	18,682	2,492	16,190	964,402
16mmフィルム							1,683
録画テープ (Uマチック)							24
録画テープ (ベータ)							30
録画テープ (VHS)	127	22		149	48	101	14,305
8mmフィルム							18
CD-ROM (主に映像)		2		2		2	341
レ コ ー ド							5,871
コンパクトディスク	42	116		158	16	142	15,896
楽 譜	3	47		50	4	46	10,637
レーザーディスク			3	3		3	2,342
DVDビデオ	180	27		207		207	1,927
カセットテープ	125	15		140	2	138	4,433
オープンリールテープ						0	773
スライドフィルム						0	1,174
視 聴 覚 資 料 小 計	477	229	3	709	70	639	59,454
総 計	15,300	2,676	1,415	19,391	2,562	16,829	1,023,856

逐次刊行物

区 分	配架場所	所蔵タイトル数	うち年間受入タイトル数			
			うち購入	うち寄贈他	うち外国語	
雑 誌 (紀要を含む)	新聞雑誌室	8,625種	1,847種	428種	1,419種	38種
	みやぎ資料室	2,296種	426種	17種	415種	
	子ども図書室	179種	37種	14種	23種	
年 鑑 ・ 年 報	新聞雑誌室	2,696種	496種	231種	265種	
	子ども図書室	9種	0種			
行 政 資 料	新聞雑誌室	2,056種	299種	158種	141種	
	みやぎ資料室	1,999種	215種	0種	214種	
新 聞	新聞雑誌室	654種	90種	63種	27種	1種
	みやぎ資料室	274種	62種		62種	
	子ども図書室	2種	1種	1種		
計		18,790種	3,473種	912種	2,566種	39種
前年度		17,821種	4,082種	992種	3,090種	39種

*子ども図書室には児童資料研究・相談室分を含む

(2) 開館日数・入館者数・個人貸出冊数・調査相談件数

	開館日数(日)	入館者数(人)	1日平均 入館者数(人)	個人貸出 冊数(冊)	1日平均 貸出冊数(冊)	調査相談 件数(件)
平成18年4月	25日	45,704人	1,828人	83,464冊	3,339冊	2,053件
5月	25日	48,576人	1,943人	79,350冊	3,174冊	1,873件
6月	25日	46,829人	1,873人	78,328冊	3,133冊	2,365件
7月	25日	51,775人	2,071人	89,778冊	3,591冊	2,491件
8月	26日	56,316人	2,166人	87,510冊	3,366冊	2,683件
9月	25日	50,051人	2,002人	84,578冊	3,383冊	2,620件
10月	25日	48,044人	1,922人	81,864冊	3,275冊	2,341件
11月	25日	47,302人	1,892人	79,973冊	3,199冊	2,209件
12月	23日	39,170人	1,703人	76,244冊	3,315冊	2,207件
平成19年1月	17日	34,900人	2,053人	66,814冊	3,930冊	2,252件
2月	18日	35,857人	1,992人	67,740冊	3,763冊	2,032件
3月	26日	45,077人	1,734人	82,591冊	3,177冊	2,036件
合計	285日	549,601人	1,928人	958,234冊	3,362冊	27,162件
前年度合計	286日	569,867人	1,993人	997,239冊	3,487冊	39,685件
増減	-1日	-20,266人	-64人	-39,005冊	-125冊	-12,523件

(3) 利用登録者数

	18年3月末現在	19年3月末現在
利用者登録者数	215,114人	225,531人
対前年比	+11,528人	+10,417人
新規登録者数	11,534人	10,423人
実利用者数	46,801人	44,838人

*対前年比には、新規登録による増加のほか、県外転居等による減少を含む

*実利用者数は、年度内に登録、貸出等の図書館利用が1回以上あった利用者数を示す

居住市町村別内訳(平成18年度分で構成比の多い順)

○利用登録者数

	18年3月末現在		19年3月末現在	
	登録者数(人)	構成比(%)	登録者数(人)	構成比(%)
仙台市	165,114人	76.8%	172,801人	76.6%
(内訳)青葉区	53,406人	24.8%	55,977人	24.8%
宮城野区	15,890人	7.4%	16,609人	7.4%
若林区	7,030人	3.3%	7,343人	3.3%
太白区	15,659人	7.3%	16,243人	7.2%
泉区	73,129人	34.0%	76,629人	34.0%
富谷町	13,769人	6.4%	14,646人	6.5%
大和町	4,971人	2.3%	5,194人	2.3%
大崎市	2,714人	1.3%	4,534人	2.0%
利府町	3,904人	1.8%	4,072人	1.8%
多賀城市	3,392人	1.6%	3,568人	1.6%
名取市	3,223人	1.5%	3,371人	1.5%
塩竈市	2,408人	1.1%	2,508人	1.1%
その他	15,619人	7.2%	14,837人	6.6%
合計	215,114人	100.0%	225,531人	100.0%

○個人貸出冊数

	平成17年度		平成18年度	
	貸出冊数(冊)	構成比(%)	貸出冊数(冊)	構成比(%)
仙台市	790,173冊	79.2%	759,313冊	79.2%
(内訳)青葉区	236,346冊	23.7%	220,988冊	23.1%
宮城野区	39,776冊	4%	35,621冊	3.7%
若林区	9,734冊	1%	10,365冊	1.1%
太白区	34,155冊	3.4%	27,992冊	2.9%
泉区	470,162冊	47.1%	464,347冊	48.5%
富谷町	97,240冊	9.8%	95,515冊	10.0%
大和町	25,800冊	2.6%	26,925冊	2.8%
利府町	13,477冊	1.4%	13,829冊	1.4%
古川市	8,554冊	0.9%	13,390冊	1.4%
多賀城市	7,087冊	0.7%	6,588冊	0.7%
塩竈市	6,385冊	0.6%	5,891冊	0.6%
名取市	6,378冊	0.6%	5,353冊	0.6%
その他	42,145冊	4.2%	31,430冊	3.3%
合計	997,239冊	100.0%	958,234冊	100.0%

(4) 分類別蔵書冊数及び個人貸出冊数

	一般図書											外国語資料	郷土資料	児童資料	視聴覚資料	その他	計
	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	未分類他						
蔵書冊数	25867	35123	72722	118312	45006	42826	26677	56908	12014	163198	45441	24127	111643	150405	59454	34133	1023856
構成比*1	2.53%	3.43%	7.10%	11.56%	4.40%	4.18%	2.61%	5.56%	1.17%	15.94%	4.44%	2.36%	10.90%	14.69%	5.81%	3.33%	100.00%
構成比*2	4.30%	5.90%	12.10%	19.80%	7.50%	7.20%	4.50%	9.50%	2.00%	27.50%							
前年度計	25,241	34,568	71,264	115,637	43,665	41,765	26,043	55,768	11,752	160,541	45,440	23,872	110,152	144,447	58,815	38,057	1,007,027
増減	626	555	1,458	2,675	1,341	1,061	634	1,140	262	2,657	1	255	1,491	5,958	639	-3,924	16,829
貸出冊数																	
平成18年4月	1,113	2,792	4,043	6,426	3,711	5,538	2,305	5,125	827	16,458	76	180		17,659	17,211		83,464
5月	1,011	2,779	4,012	6,389	3,853	5,497	2,224	4,894	778	16,037	64	136		15,148	16,528		79,350
6月	1,009	2,646	3,782	6,133	3,860	5,436	2,273	4,829	803	16,346	66	162		15,950	15,033		78,328
7月	1,207	2,793	4,460	6,703	3,988	5,686	2,304	5,193	823	17,227	58	174		21,748	17,414		89,778
8月	1,068	2,839	4,570	6,663	3,997	5,373	2,095	5,237	843	17,414	65	211		20,797	16,338		87,510
9月	1,067	2,677	4,527	6,901	3,743	5,468	2,269	5,143	856	17,243	101	180		17,207	17,196		84,578
10月	1,024	2,761	4,168	6,413	3,532	5,177	2,252	4,742	840	16,904	90	186		17,125	16,650		81,864
11月	990	2,498	3,838	6,129	3,340	5,131	2,118	4,867	805	16,451	84	165		17,260	16,297		79,973
12月	941	2,460	3,918	6,332	3,166	4,724	1,793	4,394	804	16,201	87	183		15,932	15,309		76,244
平成19年1月	783	2,097	3,499	5,475	2,764	4,347	1,469	4,099	750	13,446	68	164		15,094	12,759		66,814
2月	850	1,991	3,283	4,634	2,799	4,247	1,749	3,999	690	13,161	68	126		15,905	14,238		67,740
3月	1,091	2,714	3,957	5,755	3,328	5,417	1,997	5,158	882	17,155	87	133		17,884	17,033		82,591
年度計	12,154	31,047	48,057	73,953	42,081	62,041	24,848	57,680	9,701	194,043	914	2,000	0	207,709	192,006	0	958,234
構成比*1	1.3%	3.2%	5.0%	7.7%	4.4%	6.5%	2.6%	6.0%	1.0%	20.3%	0.1%	0.2%		21.7%	20.0%		100.00%
構成比*2	2.20%	5.60%	8.60%	13.30%	7.60%	11.20%	4.50%	10.40%	1.70%	34.90%							
前年度計	13,461	32,950	47,875	83,301	44,210	66,429	26,490	61,428	10,722	197,871	864	2,236	-	208,463	200,939	-	997,239
増減	-1,307	-1,903	182	-9,348	-2,129	-4,388	-1,642	-3,748	-1,021	-3,828	50	-236		-754	-8,933		-39,005

構成比*1：対総数での構成比を算出したもの 構成比*2：一般図書のうちNDC分類付与済みの資料内での構成比を算出したもの

館内貸出冊数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
18年度	5,281	5,577	5,573	6,305	7,232	5,907	5,277	5,584	5,034	4,442	3,983	5,074	65,269
前年度	5,175	5,920	6,153	6,808	6,990	6,089	6,035	5,744	4,914	4,192	3,821	5,629	67,470
増減	106	-343	-580	-503	242	-182	-758	-160	120	250	162	-555	-2,201

(5) 古書閲覧及び特別利用

	閲覧利用	特 別 利 用										
		特別貸出	撮 影	出 版	掲 載	翻 刻	ビ デ オ	放 送	装 飾	計		
18年4月	利用件数	0件	1件			2件						3件
	利用冊数	0冊	1冊			6冊						7冊
5月	利用件数	10件		1件		5件				1件		7件
	利用冊数	96冊		15冊		7冊				1冊		23冊
6月	利用件数	11件	4件	5件		7件	1件	1件				18件
	利用冊数	711冊	9冊	42冊		34冊	1冊	2冊				88冊
7月	利用件数	12件	3件	7件		6件	1件					17件
	利用冊数	151冊	5冊	35冊		15冊	1冊					56冊
8月	利用件数	6件	4件	7件		5件						16件
	利用冊数	366冊	33冊	89冊		39冊						161冊
9月	利用件数	13件	1件	2件		4件		1件				8件
	利用冊数	785冊	1冊	4冊		6冊		2冊				13冊
10月	利用件数	10件	1件	3件		3件						7件
	利用冊数	45冊	1冊	4冊		3冊						8冊
11月	利用件数	4件	1件	3件		4件						8件
	利用冊数	28冊	1冊	9冊		5冊						15冊
12月	利用件数	10件	1件	2件		6件				1件		10件
	利用冊数	88冊	3冊	7冊		7冊				2冊		19冊
19年1月	利用件数	7件				2件						2件
	利用冊数	24冊				5冊						5冊
2月	利用件数	3件	3件	1件		5件					1件	10件
	利用冊数	6冊	9冊	11冊		11冊					1冊	32冊
3月	利用件数	0件	2件	5件		6件						13件
	利用冊数	0冊	14冊	12冊		20冊						46冊
計	利用件数	86件	21件	36件	0件	55件	2件	2件	2件	1件		119件
	利用冊数	2,300冊	77冊	228冊	0冊	158冊	2冊	4冊	3冊	1冊		473冊
前年度計	利用件数	130件	15件	34件	0件	42件	0件	0件	1件	0件		92件
	利用冊数	7,975冊	74冊	1,285冊	0冊	180冊	0冊	0冊	1冊	0冊		1,540冊

(6) 調査相談の利用

(単位：件)

	電 話	文 書	E-mail	口 頭	その他	計
18年4月	385件	49件	18件	1,600件	1件	2,053件
5月	390件	53件	52件	1,375件	3件	1,873件
6月	372件	12件	57件	1,922件	2件	2,365件
7月	428件	17件	43件	2,001件	2件	2,491件
8月	365件	31件	24件	2,257件	6件	2,683件
9月	494件	17件	21件	2,087件	1件	2,620件
10月	416件	41件	41件	1,843件	0件	2,341件
11月	313件	15件	38件	1,841件	2件	2,209件
12月	407件	15件	38件	1,746件	1件	2,207件
19年1月	365件	10件	15件	1,862件	0件	2,252件
2月	221件	15件	39件	1,756件	1件	2,032件
3月	318件	8件	32件	1,678件	0件	2,036件
計	4,474件	283件	418件	21,968件	19件	27,162件
前年度計	7,149件	432件	456件	31,630件	18件	39,685件

(7) 文献複写の利用

○種類別枚数

種 別	枚 数
電子複写	白 黒 158,234 (171,592)
	カラー 470 (587)
マイクロフィルム	17,764 (17,557)
写 真 撮 影	20,362 (22,741)
計	196,830 (212,477)
月平均	16,403 (17,706)

○受付窓口別枚数

種 別	枚 数
一 般 図 書	28,679 (28,709)
調 査 相 談	24,153 (26,662)
新 聞 雑 誌 室	59,091 (63,659)
み や ぎ 資 料 室	84,907 (93,447)
計	196,830 (212,477)

() 前年度

(8) 図書館間の相互協力

協力貸出冊数

図書館名	17年度	18年度	図書館名	17年度	18年度
仙 台 市 民	1,181冊	1,096冊	栗 原 市	1,425冊	1,280冊
仙 台 市 広 瀬	235冊	286冊	東 松 島 市	493冊	800冊
仙 台 市 宮 城 野	355冊	372冊	蔵 王 町	475冊	622冊
仙 台 市 榴 岡	466冊	235冊	丸 森 町	2冊	2冊
仙 台 市 泉	552冊	546冊	亘 理 町	505冊	419冊
仙 台 市 若 林	508冊	335冊	利 府 町	738冊	759冊
仙 台 市 太 白	695冊	598冊	加 美 町 中 新 田	96冊	92冊
石 巻 市	556冊	738冊	加 美 町 小 野 田	35冊	37冊
塩 竈 市	664冊	748冊	美 里 町 小 牛 田	1,149冊	1,160冊
大 崎 市	754冊	1,292冊	美 里 町 南 郷	—	137冊
気 仙 沼 市	551冊	604冊	南 三 陸 町	189冊	490冊
白 石 市	394冊	434冊	本 吉 町	834冊	549冊
名 取 市	722冊	752冊	小 計	16,148冊	17,025冊
角 田 市	693冊	449冊	公 民 館 図 書 室 等	6,235冊	6,095冊
多 賀 城 市	651冊	647冊	県 外 図 書 館 等	2,123冊	1,331冊
岩 沼 市	504冊	552冊	合 計	24,506冊	24,451冊
登 米 市 追	597冊	776冊			
登 米 市 登 米	129冊	218冊			

協力貸出冊数(県外図書館等内訳)

都道府県	17年度	18年度	都道府県	17年度	18年度
北 海 道	218冊	215冊	滋 賀 県	5冊	2冊
青 森 県	192冊	143冊	京 都 府	28冊	21冊
岩 手 県	307冊	299冊	大 阪 府	23冊	15冊
秋 田 県	149冊	84冊	兵 庫 県	10冊	6冊
山 形 県	284冊	108冊	奈 良 県	9冊	2冊
福 島 県	330冊	198冊	和 歌 山 県	0冊	1冊
茨 城 県	39冊	8冊	鳥 取 県	6冊	0冊
栃 木 県	27冊	1冊	鳥 根 県	16冊	0冊
群 馬 県	18冊	0冊	岡 山 県	19冊	8冊
埼 玉 県	43冊	17冊	広 島 県	5冊	8冊
千 葉 県	72冊	38冊	山 口 県	10冊	13冊
東 京 府	14冊	19冊	徳 島 県	2冊	2冊
神 奈 川 県	12冊	8冊	香 川 県	1冊	1冊
新 潟 県	53冊	8冊	愛 媛 県	11冊	4冊
山 梨 県	27冊	3冊	高 知 県	6冊	0冊
長 野 県	31冊	11冊	福 岡 県	21冊	11冊
静 岡 県	33冊	9冊	佐 賀 県	5冊	10冊
富 山 県	4冊	3冊	長 崎 県	9冊	2冊
石 川 県	6冊	2冊	熊 本 県	1冊	1冊
福 井 県	8冊	1冊	大 分 県	1冊	2冊
岐 阜 県	11冊	5冊	宮 崎 県	6冊	4冊
愛 知 県	31冊	23冊	鹿 児 島 県	3冊	0冊
三 重 県	5冊	9冊	沖 縄 県	12冊	6冊
			計	2,123冊	1,331冊

月別相互貸借冊数・文献複写件数・協力レファレンス件数

	貸出冊数(冊)			借受冊数(冊)				文献複写受付件数(件)			文献複写依頼件数(件)				協力レファレンス受付数(件)		
	県内へ	県外へ	計	県内から	県外から	国会から	計	県内から	県外から	計	県内へ	県外へ	国会へ	計	県内から	県外から	計
18年4月	1,863冊	138冊	2,001冊	53冊	24冊	4冊	81冊	0件	15件	15件	0件	1件	11件	12件	12件	3件	15件
5月	1,889冊	105冊	1,994冊	41冊	33冊	1冊	75冊	5件	9件	14件	0件	12件	110件	122件	18件	1件	19件
6月	1,983冊	136冊	2,119冊	33冊	11冊	0冊	44冊	10件	6件	16件	1件	2件	44件	47件	15件	9件	24件
7月	1,745冊	116冊	1,861冊	47冊	59冊	4冊	110冊	4件	38件	42件	0件	5件	17件	22件	17件	4件	21件
8月	1,952冊	128冊	2,080冊	48冊	36冊	2冊	86冊	4件	49件	53件	1件	0件	34件	35件	10件	2件	12件
9月	1,973冊	142冊	2,115冊	82冊	69冊	3冊	154冊	18件	52件	70件	0件	3件	37件	40件	7件	9件	16件
10月	2,035冊	81冊	2,116冊	59冊	47冊	1冊	107冊	3件	5件	8件	0件	1件	41件	42件	7件	1件	8件
11月	1,924冊	162冊	2,086冊	51冊	23冊	0冊	74冊	9件	173件	182件	0件	0件	40件	40件	7件	7件	14件
12月	1,942冊	77冊	2,019冊	46冊	45冊	7冊	98冊	17件	42件	59件	0件	2件	32件	34件	12件	5件	17件
19年1月	1,498冊	74冊	1,572冊	54冊	32冊	0冊	86冊	21件	38件	59件	1件	7件	28件	36件	11件	2件	13件
2月	2,292冊	102冊	2,394冊	47冊	32冊	7冊	86冊	0件	5件	5件	6件	0件	47件	53件	4件	2件	6件
3月	2,024冊	70冊	2,094冊	57冊	99冊	2冊	158冊	0件	16件	16件	5件	1件	85件	91件	9件	1件	10件
計	23,120冊	1,331冊	24,451冊	618冊	510冊	31冊	1,159冊	91件	448件	539件	14件	34件	526件	574件	129件	46件	175件
前年度計	22,383冊	2,123冊	24,506冊	539冊	407冊	0冊	946冊	103件	281件	384件	10件	58件	344件	412件	225件	63件	288件

貸出依頼件数 (単位: 件)

	平成17年度	平成18年度
貸出依頼件数	22,935件	25,267件
所蔵件数	22,118件	24,154件
購入	262件	297件
借受・他館紹介等	59件	32件
提供不可	495件	459件
調査相談	288件	175件

宮城県図書館情報ネットワークシステム稼働実績

	平成17年度	平成18年度
貸出依頼件数	16,531件	22,643件
月平均	1,377.6件	1,886.9件
館当たり平均	590.4件	780.8件
所蔵館調査依頼	59件	15件
月平均	4.9件	1.3件
館当たり平均	2.1件	0.5件
参加図書館数	28館	29館
参加館増減	+1館	+1館

(9) 障がい者サービス

郵送貸出の利用

	新規登録	郵送貸出資料別						合計	
		図書	朗読テープ		点字雑誌	ビデオ	CD		
18年4月	1人	利用件数	19件	25件		6件	10件	12件	72件
		利用冊数	100冊	23タイトル	100点	15冊	33点	53点	301点
5月	0人	利用件数	19件	35件		3件	10件	14件	81件
		利用冊数	88冊	42タイトル	187点	7冊	33点	38点	353点
6月	2人	利用件数	34件	28件		2件	8件	7件	79件
		利用冊数	130冊	27タイトル	122点	4冊	36点	19点	311点
7月	6人	利用件数	23件	23件		5件	7件	9件	67件
		利用冊数	96冊	62タイトル	171点	14冊	31点	28点	340点
8月	6人	利用件数	27件	25件		3件	12件	15件	82件
		利用冊数	87冊	37タイトル	133点	8冊	50点	54点	332点
9月	1人	利用件数	34件	36件		5件	12件	8件	95件
		利用冊数	127冊	52タイトル	206点	11冊	55点	31点	430点
10月	5人	利用件数	23件	36件		5件	11件	11件	86件
		利用冊数	87冊	47タイトル	224点	10冊	29点	41点	391点
11月	2人	利用件数	29件	29件		4件	15件	10件	87件
		利用冊数	105冊	35タイトル	130点	12冊	47点	34点	328点
12月	1人	利用件数	23件	33件		5件	6件	11件	78件
		利用冊数	101冊	47タイトル	205点	12冊	26点	31点	375点
19年1月	1人	利用件数	22件	26件		2件	10件	7件	67件
		利用冊数	86冊	37タイトル	149点	7冊	34点	22点	298点
2月	0人	利用件数	30件	26件		3件	11件	9件	79件
		利用冊数	121冊	41タイトル	128点	9冊	43点	29点	330点
3月	2人	利用件数	26件	25件		3件	7件	7件	68件
		利用冊数	104冊	28タイトル	146点	9冊	34点	22点	315点
計	27人	利用件数	309件	347件		46件	119件	120件	941件
		利用冊数	1,232冊	478タイトル	1,901点	118冊	451点	402点	4,104点
前年度計	35人	利用件数	324件	372件		63件	67件	120件	946件
		利用冊数	1,127冊	344タイトル	1,484点	80冊	189点	486点	3,366点

音訳サービスの利用及び調査相談件数

		音訳サービス						計	調査相談件数
		朗読テープの作成		対面朗読		電話朗読			
		職員	ボランティア	職員	ボランティア	職員	ボランティア		
18年4月	実施件数	1件	1件			6件	10件	18件	41件
	延べ時間	0.5時間	1.5時間			2.1時間	8.8時間	12.9時間	
5月	実施件数	1件	1件			2件	13件	17件	68件
	延べ時間	0.5時間	1.5時間			0.3時間	10.3時間	12.6時間	
6月	実施件数	1件	1件			6件	12件	20件	61件
	延べ時間	0.5時間	1.5時間			1.4時間	9.2時間	12.6時間	
7月	実施件数	1件	1件			2件	10件	14件	65件
	延べ時間	0.5時間	1.5時間			0.5時間	8.1時間	10.6時間	
8月	実施件数	1件	10件			4件	8件	23件	52件
	延べ時間	0.5時間	19.5時間			0.6時間	6.1時間	26.7時間	
9月	実施件数	7件	1件			5件	8件	21件	61件
	延べ時間	6.5時間	1.5時間			0.6時間	6.3時間	14.9時間	
10月	実施件数	1件	1件		2件	7件	12件	21件	94件
	延べ時間	0.5時間	1.5時間		4.0時間	24.0時間	10.6時間	36.6時間	
11月	実施件数	2件	1件			4件	7件	14件	63件
	延べ時間	1.0時間	1.5時間			0.5時間	5.9時間	8.9時間	
12月	実施件数	1件	1件		2件	4件	11件	19件	61件
	延べ時間	0.5時間	1.5時間		4.0時間	0.8時間	9.6時間	16.4時間	
19年1月	実施件数	1件	1件		2件	4件	6件	14件	36件
	延べ時間	0.5時間	1.5時間		4.0時間	1.4時間	5.3時間	12.7時間	
2月	実施件数	1件	1件			5件	8件	15件	71件
	延べ時間	0.5時間	1.5時間			0.8時間	7.5時間	10.3時間	
3月	実施件数	1件	3件			5件	11件	20件	66件
	延べ時間	0.5時間	9.5時間			0.9時間	10.4時間	21.3時間	
計	実施件数	19件	23件	0件	4件	54件	116件	216件	739件
	延べ時間	12.5時間	44.0時間	0.0時間	8.0時間	33.9時間	98.1時間	196.5時間	
前年度計	実施件数	15件	15件	3件	1件	62件	130件	226件	791件
	延べ時間	8.0時間	23.0時間	6.0時間	2.0時間	24.4時間	105.3時間	168.6時間	

(10) 生涯学習相談

	相談受付日数	相談受付件数	1日平均件数	受付方法別		相談内容別						
				面接相談	電話相談	学習機会イベント	施設	グループ	指導者	資格	情報源	その他
18年 4月	25	151	6.04	129	22	56	14	5	14	3	26	33
5月	25	169	6.76	136	33	59	16	5	17	2	35	35
6月	25	111	4.44	100	11	35	7	9	4	1	24	31
7月	25	140	5.6	120	20	37	22	5	5	3	34	34
8月	26	123	4.7308	115	8	20	22	9	3	4	25	40
9月	25	129	5.16	108	21	53	7	6	4	2	22	35
10月	25	166	6.64	145	21	81	3	3	6	2	34	37
11月	25	111	4.44	100	11	28	7	6	3	3	38	26
12月	23	94	4.087	82	12	15	5	6	6	3	24	35
19年 *1月	23	84	3.6522	62	22	20	6	1	10	4	16	27
*2月	24	115	4.7917	104	11	17	20	7	4	2	33	32
3月	26	113	4.3462	100	13	21	17	5	9	2	23	36
合計	297	1,506	5.1	1,301	205	442	146	67	85	31	334	401
構成比		100.0%		86.4%	13.6%	29.3%	9.7%	4.4%	5.6%	2.1%	22.2%	26.6%
前年度計	297	1,864	6.3	1,590	274	621	146	113	117	42	397	428

*特別整理期間（18年度＝1/25～2/7，17年度＝1/26～2/8）中も電話での生涯学習相談に対応しているため、相談受付日数が図書館の開館日数よりも多くなっている。

区分	相談者の男女別		相談者の年齢層別						計
	男	女	19歳以下	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上	
人数	988	518	38	132	155	138	266	777	1,506
構成比	65.6%	34.4%	2.5%	8.8%	10.3%	9.2%	17.7%	51.6%	100.0%
前年度計	1,158	706	42	148	285	202	424	763	1,864

(11) 施設見学状況

	施設調査		一般見学		児童生徒見学		うち閉架書庫見学		調べ学習		職場体験		合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
平成18年 4月	0	0	2	50	2	9			0	0	0	0	4	59
5月	0	0	1	22	1	25	1	25	2	82	1	2	5	131
6月	0	0	1	31	6	152			4	189	0	0	11	372
7月	0	0	5	138	8	353	4	66	4	149	1	6	18	646
8月	0	0	2	51	1	10	1	14	0	0	1	4	4	65
9月	0	0	2	67	5	172	3	76	0	0	0	0	7	239
10月	0	0	4	93	2	53			2	40	3	6	11	192
11月	0	0	2	40	4	224			0	0	2	6	8	270
12月	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0
平成19年 1月	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0			1	5	0	0	1	5
3月	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0
合計	0	0	19	492	29	998	9	181	13	465	8	24	69	1,979
前年度合計	1	21	30	734	29	959	7	113	12	367	15	89	87	2,170

8 主催事業の概要

(1) 「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」

イ 特別展

回	開催期間	タイトル
1	平成18年4月8日(土)～6月1日(木)	「仙台藩を歩く」- 古絵地図展示 - 平成17年度「叡智の杜づくり事業」(保存修復)成果資料を公開
2	平成18年6月3日(土)～8月3日(木)	宮城県図書館創立125周年記念特別展Ⅰ「宮城県図書館の礎」
3	平成18年8月5日(土)～10月5日(木)	宮城県図書館創立125周年記念特別展Ⅱ「みやぎの学び」～藩校養賢堂における学び～
4	平成18年10月7日(土)～11月30日(木)	宮城県図書館創立125周年記念特別展Ⅲ「続・みやぎの学び」～郷学と寺子屋～
5	平成18年12月2日(土)～12月28日(木)	宮城県図書館創立125周年記念特別展Ⅳ「続々・みやぎの学び」～実学の発展～

6	平成19年3月3日(土)～5月13日(日)	「きらめく叡智と美のしずく展Ⅵ」～文化財指定から活用まで～ ～平成18年度県指定文化財、叡智の杜づくり事業(保存修復)成果資料を公開～
---	-----------------------	--

ロ 企画展

回	開催期間	タイトル
1	平成18年5月11日(木)～7月6日(木)	「明治天皇の東北巡幸」
2	平成18年7月8日(土)～8月31日(木)	「戦争中の少女たち」～10代の少女が経験した戦争～
3	平成18年9月2日(土)～11月1日(木)	「言葉×写真」～平間至×BIKKE六年後のHi-Bi～
4	平成18年11月3日(土)～12月28日(水)	「ことばのうみのあゆみ」～宮城県図書館だよりにみるみやぎゆかりの人々～
5	平成19年1月5日(金)～3月1日(木)	「マップ・トリップ」～地図からはじまる知的旅行～

6	平成19年3月3日(土)～ 4月8日(日)	「マップ・トリップリミックス」
---	--------------------------	-----------------

ハ 秋田県立図書館交流展

開催期間	タイトル	場 所
平成19年2月19日(月) ～3月25日(日)	「宮城県観光ポスター展」	秋田県立図書館 1階エントランスホール
平成19年2月27日(火) ～3月25日(日)	『きらめく叡智と美のしずく展』 ～宮城県図書館所蔵貴重資料の世界～	秋田県立図書館2階特別展示室

ニ 「プロジェクト22」宮城県図書館活用推進事業～もっと身近な県図書館を目指して～
・職員6チーム(A～F)による自主企画事業

回	期 日	内 容	対象・参加人数
1	7月21日(金)	A チーム「パソコンはじめの一步」 ～マウス・キーボード操作からインターネットまで～ ・インターネットによる図書検索などを含むパソコンの基礎知識についての研修をと おして、宮城県図書館の効率的な活用推進を支援する。	一般 10人
2	8月5日(土)	B チーム「えほんであそぼう」 ～読書が楽しくなる2つのゲームをとおして～ ・2つのカードゲームをとおして、様々な読書活動があることを理解し、味わって もらう。また、保護者に対し「読書へのアニメーション」について説明を行う。	小学1・2年生対 象 32人 (保護者含む)
3	10月14日(土)	C チーム「平間至×BIKKE トークライブ」 その先のHi-Biー絶対楽しいことが待っているぜー ・宮城県出身の写真家である平間至氏と、平間氏と親交のあるミュージシャン・詩人 BIKKE氏が、『写真と言葉』をテーマとしたトークセッションを行うとともに、両 氏の作品発表を行う。事業と並行し、平間至氏の写真展を実施する。	一般 121人
4	12月2日(土)	D チーム「宮城の食材今昔」 ・江戸から現在に至るまでの庶民の食材を本館図書館資料を通して紹介する。①宮城 の食材・・・「食」のお祭り ②鯨の宮城 ③資料で辿る江戸・明治・大正・昭和・平成 の食材	一般 41人
5	1月6日(土) 2月10日(土)	E チーム 企画展「マップ・トリップギャラリートーク」 ・様々な視点から作成された地図の展示を通して、「地図を見て考える」ことを楽し んでもらう。 国重要文化財『坤輿万国全図』特別公開 ・本館所蔵貴重資料、国重要文化財『坤輿万国全図』の原本を特別公開する。	1月6日 一般 10人 2月10日 一般 314人
6	1月19日(金)	F チーム「紙をつくらう」 ・紙を手漉きにより作ることを通して、その作成過程を体験し、普段利用している本 をより身近に感じてもらう。	一般 10人

・図書館ツアー 5回実施、参加者延べ80人

回	期 日	内 容	対象・参加人数
1	6月24日(土)	古絵地図等のレプリカ見学	一般 15人
2	8月2日(水)	街頭紙芝居の実演見学	親子 10組 <計31人>
3	10月19日(木)	宮城県政ニュースDVD版の上映見学	一般 14人
4	12月8日(金)	マイクロフィルム等逐次刊行物資料の見学	一般 8人
5	2月17日(土)	展示室や協力貸出システムの見学	一般 12人

・OPAC(館内検索機)講習会 5回実施、参加者延べ9人

回	期 日	対象・参加人数	回	期 日	対象・参加人数
1	5月26日(金)	一般 3人	4	11月17日(金)	一般 1人
2	7月14日(金)	一般 2人	5	1月19日(金)	一般 3人
3	9月15日(金)	一般 0人			

・データベース講習会 5回実施 参加者延べ18人

回	日時	対象・参加人数	回	日時	対象・参加人数
1	7月1日(土)	一般 3人	4	12月16日(土)	一般 6人
2	9月2日(土)	一般 2人	5	3月3日(土)	一般 4人
3	10月28日(土)	一般 3人			

(2)生涯学習関係事業

イ 子どもの本展示会

開催期間	会場	入場者数
4月21日(金)～5月7日(日)	ホール養賢堂	延べ1,150人

ロ 音楽鑑賞講座

期日:平成18年7月15日(土)
講師:田村 輝頭 氏・鈴木 健治 氏 (参加者:87人)

ハ 上映会・コンサト

期日:毎月第2,第4土曜日,日曜日(参加者:734人)

ニ 生涯学習推進月間

・生涯学習サークル等作品展示会(場所:生涯学習室特設展示ブース)

植物画作品展示 期日:平成18年10月1日(日)～10月15日(日)
 仙台市 透明水彩画「すみれ会」代表 桜井 幸子 氏
 折り紙作品展示 期日:平成18年10月18日(水)～10月29日(日)
 仙台市 今井 隆雄 氏
 ・生涯学習推進講演会「笑っていきいき」
 期日:平成18年10月22日(土)
 場所:ミニシアター青柳館
 講師:日本笑い学会みちのく支部 坂本 宏一 氏
 内容:「笑い与健康」について講演 (参加者65人)

- ホ エル・ネット「オープンカレッジ」
 期日:平成17年5月～平成18年2月
 内容:文部科学省の衛星通信による大学公開講座の放映 (参加者:延べ58人)
- へ 子ども放送局
 期日:毎週土曜日(第5土曜日は除く)
 内容:文部科学省の衛星通信による子ども向け番組の放映 (参加者:延べ35人)
- ト 読書推進講演会
 期日:平成18年10月28日(土)
 会場:ホール養賢堂
 講師:三浦 明博 氏
 演題:「小説の隣にあるミステリー
 ～創作の背後で起きた、いくつかの奇妙な偶然～」(参加者:127人)

チ みやぎ県民大学
 テーマ「きらめく叡智の杜を訪ねて」6回実施 受講者 58人, 延べ211人

回	期 日	講 師	内 容
1	7月8日(土)	館長 伊達 宗弘	図書館資料でたどる仙台藩黎明の時代
2	7月15日(土)	司書 熊谷 慎一郎	芦東山(あしとうざん)と仙台藩校
3	7月22日(土)	副館長 堀村 廣雄	斎藤秀三郎と斎藤秀雄
4	7月29日(土)	司書 田代恭子	書評でめぐる“食”
5	8月5日(土)	資料奉仕部長 大林 茂	英雄義経伝説の変貌
6	8月19日(土)	司書 佐尾 博基	叡智の杜をめぐる一所蔵貴重資料の展示・解説

リ 館長講座
 テーマ「みちのくの歴史と文化を訪ねて パートⅡ」6回実施 受講者 延べ397人 講師:館長 伊達 宗弘

回	期 日	内 容	受講者
1	9月2日(土)	北の大地を拓く —仙台藩士の北海道開拓物語—	88人
2	10月7日(土)	仙台藩に彩りを添えた姫君 —愛姫, 香の前, 五郎八, 悖子, 方子, 孝子, 保子—	67人
3	11月4日(土)	霊場松島と宮城の形 —縄文の宝庫, 奥の高野, 名取老女物語—	62人
4	12月2日(土)	紀行文から見た東北のかたち —宗久, 古川古松軒, 菅江真澄, イザベラ・バード, ブルーノ・タウト—	68人
5	1月13日(土)	東北の歴史と文化を訪ねて パートⅠ (福島, 宮城, 山形)	61人
6	2月10日(土)	東北の歴史と文化を訪ねて パートⅡ (岩手, 秋田, 青森)	51人

- ヌ 図書館ボランティア研修
 ・養成講座〈本館ボランティア 平成18年度新規登録者(39人)を対象に実施〉
 ①一般講座
 期 日:平成18年4月21日(金)
 内 容:宮城県図書館の概要, ボランティアについて, 各活動担当者の紹介 (参加者:37人)

②専門講座〈活動分野ごとに, ボランティア登録を行い, 専門講座を実施している。ただし, 複数の専門講座を受講できることとしている。〉

・書架整理一般(全1回)〈平成18年度新規登録者 13人〉

回	期 日	内 容	参加者
1	5月10日(水)	ラベル(請求記号)・配架について	19人

・書架整理児童(全2回)〈平成18年度新規登録者 3人〉

回	期 日	内 容	参加者
1	4月21日(金)	ラベル(請求記号)・配架について①	2人
2	6月24日(土)	ラベル(請求記号)・配架について②	3人

・視聴覚(全2回)〈平成18年度新規登録者 8人〉

回	期 日	内 容	参加者
1	4月28日(金)	活動内容について・配架について①	5人
2	5月2日(火)	活動内容について・配架について②	6人

・読み聞かせ(全2回)〈平成18年度新規登録者 6人〉

回	期 日	内 容	参加者
1	4月21日(金)	読み聞かせの実演, 子どもの本について, おはなし会について①	5人
2	6月24日(土)	読み聞かせの実演, 子どもの本について, おはなし会について②	8人

・音訳(全6回)〈平成18年度新規登録者 5人〉

回	期 日	内 容	参加者
1	5月18日(木)	障害者サービス・音訳サービスの実際	3人
2	5月25日(木)	音訳の基礎1 (音訳とは・日本語の基礎・呼吸法)	3人
補1	6月3日(土)	障害者サービスについて, 音訳サービスの実際(1, 2回目の補講)	4人
3	6月3日(土)	音訳の基礎2	5人
4	6月8日(木)	読み調べ	4人
5	6月15日(木)	音訳サービスの実際1	3人
補2	6月17日(土)	音訳サービスの実際1・2(3, 4, 5回目の補講)	3人
6	6月22日(木)	音訳サービスの実際2	3人

・図書館案内(全7回)〈平成18年度新規登録者4人を含む21人を対象に実施〉

回	期 日	内 容	参加者
1	5月11日(木)	特別展「仙台藩を歩く」, 企画展「平間至展」展示説明	17人
2	5月18日(木)	企画展「明治天皇の東北巡幸」展示説明	21人
3	6月8日(木)	特別展「宮城県図書館の礎」展示説明	17人
4	7月13日(木)	企画展「戦争中の少女たち」展示説明	13人
5	9月14日(木)	特別展「みやぎの学び」, 企画展「言葉×写真」展示説明	11人
6	11月16日(木)	特別展「続・みやぎの学び」, 企画展「『ことばのうみ』のあゆみ」展示説明	12人
7	1月11日(木)	企画展「マップ・トリップ」展示説明	13人
8	3月8日(木)	特別展「きらめく叡智と美のしずく展Ⅵ」展示説明	10人

- ・全体研修会
 本館ボランティア登録者119人(新規39人, 継続80人)を対象
 期 日:平成18年11月30日(木)
 講 演:「いま! 図書館はあなたの支援で」
 講 師:資料奉仕部長 大林 茂(参加者:40人)
- ル 文化ボランティア事業
 平成18年度文化ボランティア推進モデル事業(文化庁委嘱)として, 県内公共図書館ボランティアとの交流会, 情報公開, 合同研修会を実施。
 ・ボランティア交流会①
 内容:宮城県図書館ボランティアの概要説明, ボランティア活動場所を中心とした宮城県図書館内視察, 読み聞かせボランティアの実演・情報交換等を実施。

回	期 日	図書館名	参加者
1	9月8日(金)	白石市図書館	ボランティア27人, 職員2人
2	9月29日(金)	多賀城市立図書館	ボランティア25人, 職員2人
3	11月24日(金)	石巻市図書館	ボランティア5人, 職員2人

・ボランティア交流会②

内容：加美町中新田図書館「音訳ボランティア養成中級講座」に本館音訳ボランティアが各回2名参加し、加美町広報誌の音訳テープ作成について技術指導・情報交換を実施。

回	期 日	内 容	参加者
1	9月28日(木)	広報誌の記事選定, 下読み	18人
2	10月12日(木)	音訳テープ(マスターテープ)作成	14人
3	11月2日(木)	「加美町広報誌(11月号)」音訳テープ作成	11人
4	11月16日(木)	発声練習	7人
5	12月7日(木)	「加美町広報誌(12月号)」音訳テープ作成	7人

・音訳ボランティア専門講座

本館ボランティアと加美町中新田図書館ボランティア合同研修会を実施

回	期 日	内 容	講 師	参加者
1	1月10日(水)	講義1「音訳サービスの実際(1) 文芸作品(川柳, 俳句, 小説等)」	吉岡 徹也氏 元東北放送アナウンサー	30人
2	1月17日(水)	講義2「ボランティア活動を発展させるために」	真壁さおり氏 仙台市市民活動センター副センター長	38人
3	1月19日(金)	講義3「音訳サービスの実際(2) 報道記事(新聞記事, 広報誌等)」	吉岡徹也氏	28人
4	1月24日(水)	講義4「めざそうバリアフリーみやぎ」 講義5「これからの音訳サービスに向けて」	宮城県保健福祉部 地域福祉課職員 本館音訳ボランティア	29人

(3) 市町村図書館支援事業

イ 公共図書館等初任者研修会

期 日：平成18年4月27日(木)

講義1：「図書館サービスを考える視点 ―いつの日にも共感される図書館であるために―」

講師：宮城県図書館 内馬場 みち子

講義2：「図書館をもっと身近に, もっと楽しく―図書館から始まる叡智の杜づくり プロジェクト22を中心に―」

講 師：宮城県図書館 佐尾 博基

ワークショップ「読書へのアニメーション ―やってみよう！ 絵本ってこんなにおもしろい―」

講 師：宮城県図書館職員 (参加者：41人)

ロ 公共図書館長研修会

期 日：平成18年5月12日(金)

講演「NPOと図書館づくり ―瀬峰駅文庫の取組み―」

講師：石田 義光氏(東北学院大学文学部教授, 宮城県図書館協議会会長) (参加者：21人)

ハ 公共図書館等職員研修会1

期 日：平成18年9月14日(木)・15日(金)

講演：「サービス計画と図書館評価」講師：三村 敦美氏(座間市立図書館)

演習：「図書館サービス計画」(参加者：18人)

ニ 公民館図書室担当職員研修

期 日：平成18年9月21日(木)

講義1：「児童サービスについて」講師：宮城県図書館 沼倉 真知恵

講義2：「県図書館資料の利用について」講師 宮城県図書館 堀江 聡(参加者：6人)

ホ 公共図書館等職員研修会2

期 日：平成19年1月18日(木)

講演：「利用のための資料保存」

講師：二宮 嘉須彦(郡山女子短期大学部文化学科教授) (参加者：33人)

へ 読書活動研究集会

期 日：平成18年12月21日(木)

講演：「児童文学とは何か ―良い本の選び方, 手渡し方の手がかりをさぐる―」

講師：中地 文氏(宮城教育大学助教授) (参加者：98人)

(4) 図書館振興事業

イ 宮城県図書館振興講演会

期 日：平成18年5月27日(土)

会場：大和町まほろばホール

講師：本川 達雄氏(東京工業大学大学院生命工学研究科教授)
演題：「ゾウの時間 ネズミの時間 私の時間」

(参加者：200人)

(5) その他

イ 第57回北日本図書館大会宮城大会・宮城県公共図書館等総合研修会

《大会テーマ》「地域を育み, 地域に役立つ, 図書館の力ー 培われた知性と進取の気性ー」

期 日：平成18年6月29日(木)・30日(金)

第1日：6月29日(木)

・基調講演「司書・Librarian・Bibliothekar:図書館員のイメージ」

講師：東北福祉大学 特任教授 齋藤 雅英氏

・分科会

◇第1分科会 テーマ「地域に役立つ, 図書館のチャレンジ」

○事例発表①「地域活性化コーナービジネス支援」

秋田県立図書館 主事 芳賀 奈央子

○事例発表②「『暮らしに役立つ図書館』の再検証ー 置戸の新図書館づくりを通してー」

北海道置戸町生涯学習情報センター 司書 森田 はるみ

○事例発表③「地域のために, 新市域全域の“サービス指針”を核として」

宮城県石巻市図書館 副参事兼副館長 當摩 泰二

助言者：東北福祉大学 特任教授 齋藤 雅英氏

司会者：宮城県仙台市泉図書館 館長 京極 利光氏

◇第2分科会 テーマ「地域を育む, 図書館のチャレンジ」

○事例発表①「学校図書館の大きな可能性にチャレンジー 地域・保護者・学校ぐるみの図書館運営ー」

山形県鶴岡市立朝陽第一小学校 学校司書 五十嵐 絹子

○事例発表②「『調布市立図書館 市民の手によるまちの資料情報館』の取組について」

東京都調布市立中央図書館 奉仕係主任 海老澤 昌子

○事例発表③「図書館から始まる, 叡智の杜づくりー みやぎを担う, 次世代のためにー」

宮城県図書館 企画協力班長 内馬場 みち子

助言者：図書館と文化を考える会 代表 早坂 信子氏

司会者：加美町中新田図書館 副館長 二瓶 瑠璃子氏

第2日：6月30日(金)

・全体会

司会者：宮城県古川黎明中学校・高等学校 校長 遠藤 幸生氏

◇分科会報告① 宮城県仙台市泉図書館 館長 京極 利光氏
東北福祉大学 特任教授 齋藤 雅英氏

◇分科会報告② 加美町中新田図書館 副館長 二瓶 瑠璃子氏
図書館と文化を考える会 代表 早坂 信子氏

・情勢報告(社)日本図書館協会 理事 常世田 良氏

(参加者：211人)

ロ 平成18年度図書館地区別(北日本)研修(文部科学省委嘱事業)

《研修テーマ》「地域を生かし, 地域に生きる図書館の力」

期 日：平成18年11月7日(火)～10日(金)

内 容

第1日：11月7日(火)

・文部科学省説明 生涯学習政策局社会教育課指導研修係 主任 石橋 正邦氏

・基調講演「これからの図書館像ー地域を支える情報拠点を實現するためにー」

講師：筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 教授 葉袋 秀樹氏

第2日：11月8日(水)

- ・講義① 「生涯学習の理念と社会教育施設の動向」
講師：東北学院大学教養学部 教授 水谷 修 氏
- ・講義② 「蔵書構成と資料選定」
講師：浦安市立図書館 主任司書 鈴木 均 氏
- ・施設見学：せんだいメディアテーク、東北大学附属図書館
第3日：11月9日（木）
- ・講義③ 「22世紀を牽引する叡智の杜づくり～宮城県図書館の挑戦～」
講師：宮城県図書館長 伊達 宗弘
- ・講義④ 「図書館における情報サービス ～それを担う人材とは～」
講師：中央大学文学部 教授 山崎 久道 氏
- ・演習① 「図書館におけるコミュニケーション -なぜ話が通じないのか？そして、求められるコミュニケーションスキルとは～」
講師：津田塾大学学芸学部英文学科コミュニケーション科

- ース 教授 中西 雅之 氏
- 第4日：11月10日（金）
- ・講義⑤ 「フィンランドの読書事情 ～フィンランドの子どもたちと本～」
講師：仙台フィンランド健康福祉センター研究開発館ビジネス支援スタッフ 海老名 真綾 氏
- ・講義⑥ 「地域と図書館 ～地域に根ざすために～」
講師：愛荘町立愛知川図書館長 渡部 幹雄 氏
(参加者：延べ117人)
- ハ 宮城県図書館125周年記念コンサート「原田哲男 J.S.バッハ 無伴奏チェロ組曲演奏会」
期日：平成18年11月19日（日）
会場：エントランスホール
演奏者：原田 哲男 氏（仙台フィルハーモニー管弦楽団首席チェリスト）
(参加者：129人)

第7節 宮城県泉が岳自然の家

1 目 標

- (1) 泉ヶ岳の自然や地域の文化に親しみ豊かな心を養う。
- (2) 友情の輪を広げ、豊かな創造性とたくましい実践力を身につける。
- (3) 協同生活における勤労体験をとおして奉仕の心を高める。
- (4) 仲間との切磋琢磨により礼儀を重んじ身心を鍛える。

2 目標達成のための指針

施設の立地条件を生かした生涯学習に係わる研修事業の開発と実施に努める。

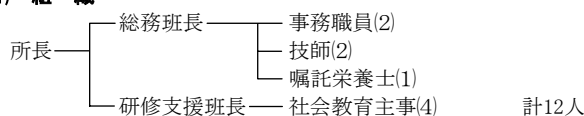
- (1) 生涯学習時代の要請に即した主催事業の計画と運営
 - ① 四季をとおして、自然に親しみ自然を大切にす心の涵養を目指した事業
 - ② 青少年の自立的な活動を育てる事業
 - ③ ボランティアの心を育てる事業
 - ④ 親子・世代間等の多彩な交流を図る事業
 - ⑤ 青少年教育、団体活動に寄与する指導者を育成する事業
 - ⑥ 余暇生活の充実発展を通し、自己啓発を支援する事業
- (2) 県民に開かれた青年の家の確立
 - ① 利用の拡大を図るための広報活動の強化
 - ② 利用者のニーズに根ざした活動の活性化を図る情報の提供
 - ③ 学校教育との融合の促進
 - ④ 地域社会、関係諸機関及び各団体との連携強化
 - ⑤ 誠意あるサービスの提供

(3) 研修活動並びに指導体制の充実

- ① 施設の特徴を生かした研修プログラムの開発と資料の整理
- ② P A（冒険プログラム）に関する内容の充実と資料の整備
- ③ 研修目的や内容に応じた弾力的運営
- (4) 施設設備の整備・拡充と活用
 - ① キャンプ施設の利用拡大
 - ② 日常的な施設設備の安全点検の実施と事故防止の徹底

3 組織と予算

(1) 組 織



(2) 予 算

項 目	金 額 (千円)
管 理 経 費	31,825
事 業 費	1,216
施 設 整 備 費	4,575
合 計	37,616

(3) 収容人数

本館 160人
キャンプ場 40人

4 事業概要

(1) 主催事業 第5～36表

【小・中学生を対象とした事業】

No.	事業名	内 容	対 象	参加者		期 日	会 場
				実人数	延人数		
1	泉ヶ岳 チャレンジクラブ 自然学校	・アドベンチャー体験・野外炊飯 ・魚釣り・水生昆虫採集 ・自然物を使った創作活動	小学4年生～ 中学3年生 50人	54人	108人	6.10日(出) ～11日(回)	泉が岳自然の家
2	青少年長期自然体験活動 推進事業（海と山を結ぶ みやぎ子どもアドベンチャー）	異年齢集団の長期宿泊を通して、自主性・協調性・忍耐力・ 社会性等を養い、心豊かなこどもの育成を図る。 （野外炊飯、グリーンアドベンチャー、溪流釣り、登山、 サイクリング、いかだ作り等）	小学5年生～中 学3年生 35名	35人	490人	7.30日(土) ～8.12日 (土)	泉が岳自然の家。松島自然の家

【親子を対象とした事業】

No.	事業名	内 容	対 象	参加者		期 日	会 場
				実人数	延人数		
1	泉ヶ岳 親子でトライ（春）	・テント生活体験・野外炊飯 ・キャンプファイヤー・グリーンアドベンチャー ・親子で作る（創作活動）	小学生を含む 家族	38人	76人	5.20(土) ～21(日)	泉が岳自然の家 キャンプ場 泉ヶ岳山麓
2	泉ヶ岳 親子でトライ（夏）	・テント生活体験・野外炊飯 ・野外活動・昆虫採集 ・親子で作る（創作活動）	小学生を含む 家族	58人	116人	8.19(土) ～20(日)	泉が岳自然の家 キャンプ場 泉ヶ岳山麓
3	泉ヶ岳	・ テント生活体験・野外炊飯	小学生を含む	29人	58人	10	泉が岳自然の家

	親子でトライ (秋)	・ キャンプファイヤー・泉ヶ岳ハイキング (軽登山) ・ 親子レクリエーション	家族			14(土)～15(日)	キャンプ場 泉ヶ岳山麓
4	泉ヶ岳 親子でトライ (冬)	・ アルペンスキー ・ クロスカントリースキー ・ 雪遊び	小学生を含む 家族	50人	100人	2.24(土)～25(日)	泉が岳自然の家 キャンプ場 泉ヶ岳山麓

【青年を対象とした事業】

No.	事業名	内 容	対 象	参加者		期 日	会 場
				実人数	延人数		
1	アウトドアチャレンジ ・イン・泉ヶ岳	・アウトドアチャレンジ・アウトドアクッキング ・冒険プログラム(MAP)・交流会	20歳～ 30歳代	16人	32人	9.16(土) ～17(日)	泉が岳自然の家 泉ヶ岳山麓

【成人を対象とした事業】

No.	事業名	内 容	対 象	参加者		期 日	会 場
				実人数	延人数		
1	紅葉の 泉ヶ岳をたずねて	・泉ヶ岳登山コース・北泉ヶ岳登山コース ・植物観察ハイキング	20歳以上	83人	166人	10.21(土) ～22(日)	泉が岳自然の家 泉ヶ岳 北泉ヶ岳

【小学生から大人までだれでも参加できる事業】

No.	事業名	内 容	対 象	参加者		期 日	会 場
				実人数	延人数		
1	スノーパラダイス ・イン・泉ヶ岳	・アルペンスキーコース・スノーボードコース ・雪遊びコース ・お楽しみ会 (交流会)	小学生以上	71人	142人	2.3(土) ～4(日)	泉が岳自然の家 泉ヶ岳スキー場 泉ヶ岳山麓
2	冬自然 歩くスキーでGO! I・II・III	・歩くスキー技能講習 ・歩くスキーでのハイキング ・交流会	小学生以上	I 46人 II 32人 III 50人	I 46人 II 32人 III 100人	I 1.21(日) II 1.28(日) III 2.17(土) ～18(日)	泉が岳自然の家 泉ヶ岳山麓 桑沼周辺

【指導者・ボランティアの育成を目的とした事業】

No.	事業名	内 容	対 象	参加者		期 日	会 場
				実人数	延人数		
1	野外活動 ボランティア養成講座	・ボランティア講義 ・野外活動研修 (テント・野外炊飯) ・自然観察研修 ・登山支援研修・オリエンテーリング	18歳以上	27人	54人	5.13(土) ～14(日)	泉が岳自然の家
2	MAP体験会	実際の活動を通してMAPの基本的な考え方について学ぶとともに体験を通してMAPの楽しさを味わう	18歳以上 30人	29人	29人	6.25(金)	泉が岳自然の家
3	MAP講習 I	アクティビティの体験を通してMAPの理論や基本的なプログラミングについて学ぶ	18歳以上 (MAP体験会 修了者) 30人	9人	27人	7.7(水) ～9(金)	泉が岳自然の家
4	MAP講習 II	MAPの考え方をういた活動のプログラミングやアドベンチャーグループカウンセリング等の心理的手法について学ぶ	18歳以上 (MAP講習 I 修了者) 30人	30人	90人	10.26(火) ～28(木)	泉が岳自然の家
5	ジュニア・リーダー 上級研修会	子ども会活動の直接的な指導に当たる年少指導者に子ども会活動に必要な知識・技能・態度等についての研修を行う	市町村から推薦 (JL中級研修 修了者) 80人	33人	99人	12.25(月) ～27(水)	泉が岳自然の家

(2) 利用状況 第5-37表

項目 月	開 所 日 数 (日)	利 用 日 数 (日)	宿 泊 可 能 日 数 (日)	宿 泊 利 用 日 数 (日)	利 用 団 体 数 (団体)	利 用 者 実 数					利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 者 延 人 数 (人)	日帰り研修	
						利 用 者 延 人 数								団 体 数 (団体)	延 人 数 (人)
						中 学 生 以 下 (人)	高 校 生 等 (人)	引 率 者 (人)	一 般 (人)	合 計 (人)					
4月	24	24	20	20	37	141	795	83	285	1,304	3,272	3,135	1,968	20	137
						330	1,836	181	925	3,272					
5月	26	26	22	19	46	925	16	80	992	2,013	3,670	3,117	1,751	19	553
						2,049	37	170	1,414	3,670					

6月	26	20	22	15	33	303	60	49	710	1,122	2,073	1,712	935	17	361
						523	60	87	1,403	2,073					
7月	28	26	25	19	42	460	46	44	912	1,462	2,658	2,119	1,331	19	539
						849	133	85	1,591	2,658					
8月	27	27	23	22	43	704	134	211	395	1,444	3,338	3,153	1,881	11	185
						1,577	410	448	903	3,338					
9月	26	25	22	20	36	356	55	53	487	951	1,783	1,462	873	13	321
						668	127	86	902	1,783					
10月	26	25	21	17	27	194	314	127	436	1,071	2,205	1,888	1,095	10	317
						373	594	221	1,017	2,205					
11月	26	16	22	8	17	207	25	45	267	544	936	784	392	8	152
						414	50	88	384	936					
12月	24	11	20	4	11	116	33	15	107	271	481	387	210	7	94
						202	99	23	157	481					
1月	24	20	20	10	30	216	50	95	199	560	961	735	401	17	226
						413	121	157	270	961					
2月	24	24	20	17	24	174	265	102	380	921	1,771	1,461	850	8	310
						299	438	145	889	1,771					
3月	25	18	20	11	23	179	96	45	173	493	1,114	1,010	621	9	104
						350	306	98	360	1,114					
累計	306	262	257	182	369	3,975	1,889	949	5,343	12,156	24,262	20,963	12,308	158	3,299
						8,047	4,211	1,789	10,215	24,262					

第8節 宮城県松島自然の家

1 目標

奥松島に位置する広大な敷地と恵まれた自然環境のもと、野外活動、体験活動、スポーツ、研修等をとおして県民の心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成を図る。

2 目標達成のための指針

(1) 特色ある事業の計画と運営

- ① 県民の一人ひとりが、野外活動・体験活動等をとおして、精神的な充足感や新たな自己発見ができる豊かで生きがいのある生活が促進できるような企画運営を行う。
 - ② 青少年が自然とのふれあいをとおして「自ら学ぶ力」や「たくましく生きる力」そして「他を思いやる心」を身につけられるような企画運営を行う。
 - ③ 完全学校週5日制の実施に伴い、家族のふれあいの場となるような企画運営を行う。
 - ④ 障害のある児童生徒やその関係者の野外活動体験を推進する。
 - ⑤ 地域（東松島市、宮戸漁協等）との関わりのある活動プログラムを推進するとともに、一層のプログラム開発に努める。
- (2) 野外活動・体験活動・スポーツ・研修等の自主的・計画的な実践への効果的な支援
- ① 県民の学習ニーズに対応した快適な野外活動の場の提供と宿泊研修を主体的に進めるための支援を行う。
 - ② 「利用団体事前打合せ」をとおし、十分な情報提供と利用者間の調整に努める。
 - ③ ゆとりある「活動プログラム」が企画できるように助言するとともに、打合せ後も電話連絡等できめ細かく支援をしていく。

(3) 利用者が満足するサービスの実施

- ① 利用者の自主性を尊重し、誰もが利用しやすい施設運営に努める。
- ② 文書や訪問による広報に加え、リーフレットやホームページの更新などにより、施設への理解と利用促進を図る。
- ③ 専門性を高めるための職員研修を積極的に進める。
- ④ 常に施設・設備の安全点検を行い、防災・安全対策に万全を期す。

(4) 重点努力目標

- ① 幼児教育（保育所・幼稚園児）のための野外活動を推進する。
 - ② 主催事業の「ファミリーキャンプ体験版」等において、野外活動と家族間交流活動への興味・関心を高められるような企画運営を行う。
 - ③ 障害のある児童生徒やその関係者の野外活動体験を推進する。
 - ④ 各種団体・子ども会等に野外活動体験を推進する。
 - ⑤ 所員の研修活動を推進する。
 - ・心身にハンディを有する方に対する活動プログラム及び施設整備の充実についての研修
 - ・利用者へのアンケート実施
 - ・野外活動の効果分析及び評価方法の検討
 - ・野外活動プログラムの研究開発
 - ・年間を通じた恒常的プログラム
 - ・心身の発達段階に応じたプログラム
 - ⑥ 児童生徒に豊かな体験の場を提供するために学校との連携・融合を図り、豊かな心の育成と生きる力を育む体験活動に対する支援・協力するセカンドスクールの活用事業を推進する。
 - ⑦ その他
 - ・特に冬期間のPRに努める。
 - ・より効果的な利用者へのサービスのあり方を推進する。
- (5) 利用団体について
- ① 「指導者または責任者がはっきりして、活動計画のもと利用する団体及びグループ」の方針のっとり、特に、学校週5日制実施に伴い地域活動及び家族で気軽に利用できるように努める。
 - ② 学校の夏季休業中以外の、日帰り利用の促進を図る。ただし、宿泊利用者の妨げにならないようにする。
 - ③ 持ち込みテント利用は通年とし、利用者のニーズに柔軟に対応できるようにする。
- (6) 利用団体への対応について
- ① 利用団体との事前打合せを十分行い、団体の目的に応えられるよう支援していく。
 - ② 標準生活時程表を基本とするが、可能な範囲内で柔軟に対

応ずる。

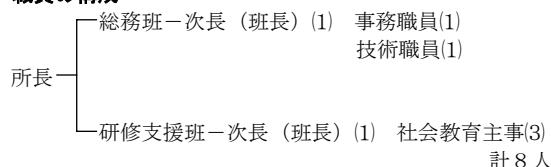
- ③ 利用団体の自主性を尊重した活動になるよう支援していく。

(7) 活動プログラムについて

- ① 自然体験や自然に親しむ活動のふれあいを通して、連帯感を育てよう支援していく。
 ② 自然環境を活かした活動プログラムの開発に努める。
 ③ 地域（東松島市、宮戸漁協等）との関わりのある活動プログラムを推進するとともに、一層の開発に努める。

3 組織と予算

(1) 職員の構成



(2) 予算（単位：千円）

項 目	金 額
管 理 費	32,665
事 業 費	2,326
施 設 備 費	2,932
合 計	37,923

(3) 収容人数

キャンプ場（テント） 750人
 宿泊室 96人

4 事業概要

(1) 主催事業 第5-38表

No	事業名	期 日	対象及び参加人数	ね ら い と 内 容
1	アウトドアセミナーⅠ	6. 3日（土） ～4日（日）	県民一般（小学校4年生以上） (47人)	野外活動及びニュースポーツの体験活動を通して参加者相互の交流を図り、県民の健康・体力づくりへの関心と意欲を高めた。
2	アウトドアセミナーⅡ	6. 17（土） ～18（日）	県民一般（小学校4年生以上） (20人)	野外活動を通して参加者相互の交流を図り、多くの県民が健康・体力づくりへの関心と意欲を高められるような指導者の資質向上を図る。
3	ファミリーキャンプ奥松島	7. 8（土） ～9（日）	県民一般（家族単位） (41家族、148人)	施設の常設テントに宿泊し、家族でキャンプ生活を体験することにより、野外活動への関心と意欲を高める。 ・釣り、サイクリング、野外炊飯、クラフト等
4	ハートフル潮風	8. 19（土） ～20（日）	心身に障害のある児童・生徒とその親（小・中・高校生） (91人)	障害のある児童生徒を対象に、学校週5日制を積極的に活用し、異年齢集団の中で仲間やボランティアとの豊かな体験活動等による学校外活動の機会や場を提供することによって、自主性や協調性、社会性を伸長する。 ・地引き網、砂遊び、野外炊飯、クラフト等
5	キャンプのつどい	9. 16（土）～17（日）	県民一般（23人）	テント生活の体験を通して、参加者相互の交流を図り、野外活動に親しむとともに、健康体力作りへの関心と意欲を高めた。 ・テント設営・撤去、キャンプファイヤー、野外炊飯、フリータイム等
6	アウトドアフェスティバル兼自然の家 オープンデー	10. 1（日）	県民一般 (152人)	各種野外活動から自分で選択したものを体験することにより、自然の良さを実感し、健康や体力づくりへの関心と意欲を高める。松島自然の家を広く子どもや家族等に開放し、ハイキング、サイクリング、自然観察、ニュースポーツなどを通して、自然の家への理解と利用の促進を図る。 ・釣り、ウォークラリー、ニュースポーツ等
7	フィッシング入門	11. 11（土） ～12（日）	小学4年生以上の子供とその親及び成人釣り初心者 (48人)	奥松島の景観を堪能しながら船釣りの楽しさを味わい、親子のふれあいや他家族との交流・親睦を深める。 ・船釣り、釣りの情報交換会
8	親子でチャレンジ	12. 9（土）～10（日）	子供とその家族 (20家族 70人)	奥松島の冬の味覚を親子で賞味しながら、親子のふれあいや他家族との交流・親睦を深める。 ・海苔づくり、カキむき体験
9	おい！SEA 冬の奥松島	2. 24（土）～25（日）	県民一般（家族単位、個人参加も可） (68人)	冬の奥松島の産品について理解を深め、味わいながら交流を深める。 ・海苔づくり、塩づくり、海鮮パーベキュー等
	青少年長期自然体験活動推進事業（海と山を結ぶみやぎこどもアドベンチャー）	7. 30（土）～8. 12（土）	小学5年生～中学3年生 35名	異年齢集団の長期宿泊を通して、自主性・協調性・忍耐力・社会性等を養い、心豊かなこどもの育成を図る。 (野外炊飯、グリーンアドベンチャー、溪流釣り、登山、サイクリング、いかだ作り等)

(2) 利用状況 第5-39表

項目 月	開 所 日 数 (日)	利 用 日 数 (日)	宿 泊 可 能 日 数 (日)	宿 泊 利 用 日 数 (日)	利 用 団 体 数 (団体)	利 用 者 実 数					利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 者 延 人 数 (人)	日帰り研修	
						利 用 者 延 人 数								団 体 数 (団体)	延 人 数 (人)
						中 学 生 以 下 (人)	高 校 生 等 (人)	引 率 者 (人)	一 般 (人)	合 計 (人)					
4月	26	25	21	19	39	387	1,510	207	120	2,224	3,257	1,997	1,033	20	12,60
						547	2,253	292	165	3,257					
5月	26	26	22	18	54	839	749	101	416	2,105	3,795	3,232	1,690	22	563
						1,621	1,280	183	711	3,795					
6月	26	26	22	22	41	687	429	247	221	1,584	2,977	2,750	1,423	8	227
						1,394	736	467	380	2,977					
7月	26	25	21	21	59	1,384	147	552	248	2,331	4,508	4,139	2,077	10	369
						2,679	248	1,028	553	4,508					
8月	28	28	24	24	72	1,053	532	142	776	2,503	4,456	3,492	2,069	12	964
						1,758	1,390	256	1,052	4,456					
9月	26	25	22	21	66	1,753	238	278	1,598	3,867	5,166	2,430	1,298	35	2,736
						2,396	525	434	1,811	5,166					
10月	25	15	1	1	37	454	337	123	569	1,483	1,587	209	104	36	1,378
						522	337	159	569	1,587					
11月	26	20	14	9	23	520	261	99	227	1,107	1,652	1,222	545	11	430
						917	290	161	284	1,652					
12月	24	13	20	6	25	292	47	102	109	550	876	644	314	13	232
						460	124	136	156	876					
1月	24	12	20	5	16	190	44	50	43	327	555	447	228	7	108
						326	80	86	63	555					
2月	24	14	20	7	14	194	155	67	74	490	1,119	1,117	611	4	62
						347	546	105	121	1,119					
3月	24	24	20	19	30	160	281	52	240	733	1,478	1,195	450	13	283
						281	796	119	282	1,478					
累計	305	254	227	171	476	7,753	4,449	1,968	4,401	18,571	31,426	22,814	11,842	191	8,612
						13,248	8,605	3,426	6,147	31,426					

第9節 宮城県蔵王自然の家

1 目標

○教育目標

- (1) 蔵王の雄大な自然の中での体験を通して、心豊かでたくましく生きる力を備えた少年、即ち、
- ① 自然の美しさに感動し、自然を大切にする少年
 - ② 何事にもくじけない、強い意志と体力を持つ少年
 - ③ 互いに協力し、自ら生活を工夫し、他人を思いやる心を持つ少年の育成に努める。
- (2) 社会教育施設として、広く県民の利用をととして生涯学習社会の構築に寄与する。

○生活の指標

教育目標の達成を目指し、少年たちの自主的な活動をととして、「規律」「協同」「友愛」「奉仕」のこころをはぐくむことを生活指標とする。

(1) 規律

自然の家の使い方や、自分たちで定めた約束を守り、みんなで楽しい生活をするための、集団生活の仕方を学ぶ。

(2) 協同

自分たちの仕事に責任を持ち、互いに力を出し合って一つ一つの活動をなし遂げ、助け合うことの大切さを学ぶ。

(3) 友愛

協同生活をととして友達の良さを知り、お互いの存在を認め合うことの大事さに気づき、他人を思いやることの大切さを学ぶ。

(4) 奉仕

自然の美しさを守るための行動及びスムーズな集団生活ができるよう進んで活動をし、他人のために仕事をするの楽しさを学ぶ。

2 目標達成のための指針

(1) 教育内容の充実

- ① 利用団体の主体的活動を進めるプログラム作成への支援及び学校週5日制への対応を推進する。
- ② 生涯学習社会の観点から、多様な利用に対応できるプログラムの開発やボランティアの養成に努める。
- ③ 魅力ある活動コースを開発・整備し、野外活動の活性化を図る。
- ④ 時代に対応した施設利用のあり方について工夫改善を図る。

(2) 広報活動の充実

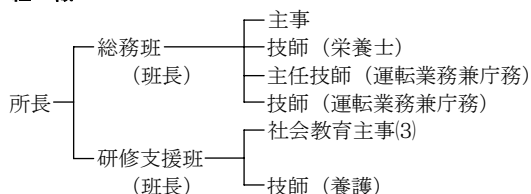
- ① 施設の理解と利用の促進を図るため、広報活動を積極的に進める。
- ② 社会教育諸団体及び関係機関との連携を深め、広く情報の提供に努める。
- ③ 利用者向け「主催事業一覧」や「利用の手引き」等を作成し利用の促進を図る。

(3) 施設・設備の整備、充実

- ① 活動しやすい設備の工夫と快適で清潔な環境づくりに努める。
- ② 常に施設・設備の安全点検を行い、事故防止に万全を期する。

3 組織と予算

(1) 組織



(2) 予算

項 目	金 額 (千円)
管 理 運 営 費	45,979
事 業 費	2,762
施 設 整 備 費	2,192
拡 張 整 備 費	0
合 計	50,933

(3) 収容人数

宿泊室 254人
山小屋 120人
テント 75人

4 事業概要

(第5-40表参照)

(1) 主催事業 第5-40表

- ① 小・中学生を対象とした事業

No.	事 業 名	期 日	予定対象者	参 加 者		事 業 内 容
				実人数	延人数	
1	チャレンジin蔵王	7.26(水) ～8.1(火)	小学5年～ 中学3年 30名	32	224	蔵王の雄大な大自然の中で、長期間のキャンプ生活や野外活動を通してたくましく、主体的・自主的な生活をさせ、生きる力を育む。

2	ハーモニーin蔵王	9.16(土)～ 9.17(日)	ハンディキャップ を持つ子と親とボ ランティア	37	74	ハンディキャップのある子と健常者が、蔵王の大自然の中で、 触れ合いや語り合いを通して、交流を深め、豊かな人間性を培う。
---	-----------	---------------------	-------------------------------	----	----	--

② 家族を対象とした事業

No.	事業名	期 日	予定対象者	参 加 者		事 業 内 容
				実人数	延人数	
1	新緑親子のつどい	4.29(土)～ 4.30(日)	小学生以上 親子30組 100名	105	210	蔵王の自然に親しむと共に、植物観察等を通して、親子の 触れ合い、他家族との交流親睦を図る。
2	夏山親子のつどい	8.19(土)～ 8.20(日)	小学生以上 親子30組 100名	124	248	蔵王の自然の中で、野外生活に親しみながら、親子の触れ合い、 他家族との交流・親睦を図る。
3	紅葉親子のつどい	10.14(土)～ 10.15(日)	小学生以上 親子30組 100名	95	190	野外活動を通して、秋の自然に親しみながら、親子の触れ合い、 他家族との交流・親睦を図る。
4	白銀親子のつどい	2.10(土)～ 2.11(日)	小学生以上 親子30組 100名	134	268	冬山の美しさにふれながら、雪遊びや歩くスキーを楽しみ、親 と子の絆を深めるとともに他家族との交流・親睦を図る。

③大学生・社会人・指導者を対象とした事業

No.	事業名	期 日	予定対象者	参 加 者		事 業 内 容
				実人数	延人数	
1	野外教育施設ボランティア養成講座	5.13(土)～ 5.14(日)	大学生・社会人	24	48	蔵王自然の家でのボランティア活動の希望者が、フィールドワ ークの基礎的スキルを習得し、利用者への支援が、円滑にできるよ うにする。
2	みやぎアドベンチャープログ ラム体験会	5.27(土)	社会教育主事 青少年教育指導者 等	14	14	社会教育関係者（社会教育主事、青少年教育指導者）を対象に して、地域の指導者を育成するとともに、『みやぎアドベンチャー プログラム』の普及と推進を図る。
3	スキー指導者研修会	1.5(金)	利用団体活動引率 者及び大学生・社 会人	15	15	冬季間の自然の家におけるスキー活動の指導希望者および引 率者を対象に、子供たちへのスキー指導の心構えと指導場所等の 確認をし、資質の向上を図る。
4	野外活動指導者研修会	8.10(木)～ 8.11(金)	教職員	17	28	学校の教職員が、野外活動の基礎的スキル等の習得を通して、資 質の向上を図る。
5	利用事前研修会	4.14(金)	4月～7月利用の 学校	50	50	自然の家の利用の仕方、活動プログラムの立案、野外活動の指 導方法等について研修を深めるとともに、同期日利用団体相互の 各種調整を行う。
		7.7(金)	8月～10月利用の 学校	51	51	
		6.11(日)	7～8月利用の子 ども会・各団体・ 幼稚園	85	85	
		11.24(金)	冬利用の学校	40	40	
		12.17(日)	冬利用の子ども 会・幼稚園・各団 体	25	25	

(2) 利用状況 第5-41表

項目 月	開 所 日 数 (日)	利 用 日 数 (日)	宿 泊 可 能 日 数 (日)	宿 泊 利 用 日 数 (日)	利 用 団 体 数 (団体)	利 用 者 実 数					利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 者 延 人 数 (人)	日帰り研修	
						利 用 者 延 人 数								団 体 数 (団体)	延 人 数 (人)
						中 学 生 以 下 (人)	高 校 生 等 (人)	引 率 者 (人)	一 般 (人)	合 計 (人)					
4月	26	20	21	12	88	882	113	148	151	1294	2746	2565	1449	78	181
						2076	226	225	219	2746					
5月	26	24	26	13	345	1737	0	175	838	2750	4545	3258	1873	336	1287
						3359	0	289	897	4545					
6月	27	25	22	19	104	1596	62	323	133	2114	5015	4676	2901	72	339
						4081	161	517	256	5015					
7月	28	28	24	23	108	1367	68	324	249	2008	4174	3790	2166	70	384
						2929	108	564	573	4174					

8月	26	26	23	22	125	731	154	195	315	1395	3264	2933	2273	36	331
						1870	316	404	674	3264					
9月	28	28	23	23	67	2057	0	235	220	2512	6244	6133	3069	20	111
						5218	0	563	463	6244					
10月	26	26	21	12	24	340	0	50	376	766	1644	1413	878	10	231
						933	0	140	571	1644					
11月	25	21	18	5	74	27	0	18	130	175	261	172	86	68	89
						40	0	36	185	261					
12月	25	14	21	4	34	103	0	22	202	327	567	400	240	31	167
						268	0	55	244	567					
1月	25	24	22	17	85	880	0	184	482	1546	3459	3058	1913	45	401
						2409	0	455	595	3459					
2月	26	26	22	19	113	1077	10	444	270	1801	3881	3545	1919	24	336
						2661	30	642	548	3881					
3月	27	17	23	5	23	35	9	5	79	128	230	204	102	7	26
						70	18	10	132	230					
累計	315	279	266	174	1191	10832	416	2123	3445	16816	36030	32147	18869	797	3883
						25914	859	3900	5357	36030					

第10節 宮城県志津川自然の家

1 目標

- (1) 「健康・規律・友愛・奉仕」の心を育む青年の家の実現をめざす。
- (2) 研修生との触れ合いを大切にし、研修生自らが積極的に学ぶことができる環境づくりに努める。
- (3) 施設の果たす役割を十分に認識し、心豊かな実践力のある青少年の育成を図る。

2 目標達成のための指針

- (1) 海洋型青年の家としての特色ある主催事業の推進
 - ア 青少年に活動と交流の場を提供するとともに、長期的な視点に立って、多様化した青少年の学習活動を支援促進する。
 - イ 志津川湾の恵まれた自然条件のもと、海の魅力に触れ、環境問題等について考える事業を推進する。
 - ウ 海洋型施設を支援するボランティアを育成するとともに、地域の指導者の活用を積極的に図る。
 - エ 児童・生徒の「生きる力」を育み、学校週5日制に対応して共同宿泊体験事業を推進する。
- (2) 研修生の自主的な研修活動に対する効果的な支援
 - ア 事前打合せを綿密に行い、利用者の研修目的に沿った計画の作成を支援する。
 - イ 研修時は、安全に留意して事故防止に万全を期し、研修効果を高めることに配慮する。
 - ウ 地域との連携を密にし、必要な情報の収集と発信に努め、利用者の多様な活動を支援する。
 - エ 学社融合を推進し、セカンドスクールとしての利用や「総合的な学習の時間」の活動を積極的に支援する。

4 事業概要

(1) 主催事業 第5-42表

No.	事業名	期日	実績	ねらい・主な研修内容
1	MAP体験会	6月6日(火)	社会教育関係者 25人	青少年の健全育成に資するために地域の指導者を育成し、「みやぎアドベンチャープログラム」の普及と推進を図る。 ・MAPとは、アクティビティ体験等
2	ヨット&マリンスポーツ	第1回 6月17日(土)~18日(日) 第2回 7月8日(土)~9日(日) 第3回 9月9日(土)~10日(日)	青年(高校生以上) 1回目 22人 2回目 31人 3回目 22人	ヨットやシーカヤックなどの操作技術を習得し、マリンスポーツを体験することによって、海の魅力や自然の雄大さにふれる。 ・講義(ヨット艦装、操作、海の交通規則) ・実技(ヨット艦装、操作、シーカヤック体験)

- オ 利用者の多様な要望に対応できる幅広い研修プログラムを研究・開発する。
- カ MAP(みやぎアドベンチャー・プログラム)の指導者養成に努める。
- (3) 利用者の立場に立ったサービスの向上
 - ア 研修生には誠意をもって対応し、笑顔をやささないよう心がける。
 - イ 施設の理解と利用の促進を図るため、広報活動に力を入れる。
 - ウ 施設環境の整備に力を注ぐ。
 - エ 専門性を発揮するための職員研修を積極的に進める。

3 組織と予算

(1) 職員組織

所長	総務班一次長(班長)(1)・主査(1)
	技師(2)
	研修支援班一次長(班長)(1) 社会教育主事(2)
計8人	

(2) 予算

項目	金額(千円)
管理経費	28,937
主催事業費	2,043
施設整備費	1,762
合計	32,742

(3) 収容人数

宿泊定員100人

3	サマー・アドベンチャー I N海青	8月8日(火)～10日(木)	小学5年生～中学2年生 51人	志津川湾を中心とした自然体験や宿泊体験をすることによって 大自然の素晴らしさにふれるとともに、集団生活を通して友達と 協力することの大切さを学び、心豊かでたくましい児童、生徒の 育成を図る。 (無人島探検、いかだ遊び、野外炊飯、キャンドルサービス等)
4	スキューバで海中散歩	8月26日(土)～27日(日)	一般成人 31人	スキューバダイビングで海中の生き物に出会ったりすることによ り、マリンスポーツの魅力をもっと味わい、海を愛する心を育 てる。(スキューバに関する講義、スキューバダイビング体験等)
5	オータム I N海青 ～秋の自然に親しむ～	10月14日(土)～15日(日)	一般成人 28人	野鳥の森でのキノコや植物の観察、磯の散策、海岸での釣り等 を通して、自然の素晴らしさや大切さを学び関心を高める。 (里山散策とキノコ採集、チカ釣り等)
6	海の味覚をさぐる ～魚料理に挑戦～	11月11日(土)～12日(日)	親子 50人	志津川湾の海の幸を親子や仲間調理し、賞味して、海の恵み の素晴らしさを知る。さらに、養殖施設の見学や実体験によ って漁業への理解を深め、自然環境を考える機会とする。(イカ燻製 作り、カキ・ホタテ剥き体験、シーフードバーベキューと神割崎 鍋等)
7	ジュニア・リーダー 上級研修会	12月25日(月)～27日(水)	ジュニアリーダー中級取得 者 20人	心身ともに健やかな児童の育成をねらいとした子ども会活動の 振興を図るため、子ども会の直接的な指導に当たる年少指導者に 子ども会活動等に必要な知識・技能・態度等についての研修を行 う。(講義、救急法、創作活動等)
8	南三陸の香り、味 I N志津 川	1月20日(土)～21日(日)	一般成人 30人	南三陸の自然、風土、歴史そして味にふれることにより、南三陸 の良さを知る。(くん製作り、砂金掘り体験、カキ・ホタテむき 体験、シーフードバーベキュー、海鮮鍋等)

(2) 利用状況 第5-43表

項目 月	開 所 日 数 (日)	利 用 日 数 (日)	宿 泊 可 能 日 数 (日)	宿 泊 利 用 日 数 (日)	利 用 団 体 数 (団体)	利 用 者 実 数					利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 者 延 人 数 (人)	日帰り研修	
						利 用 者 延 人 数								団 体 数 (団体)	延 人 数 (人)
						中 学 生 以 下 (人)	高 校 生 等 (人)	引 率 者 (人)	一 般 (人)	合 計 (人)					
4月	27	20	21	15	15	241	299	60	109	709	1,736	1,736	1,027	0	0
						595	644	142	355	1,736					
5月	27	26	23	21	26	846	31	129	476	1,482	3,243	2,828	1,761	5	415
						2,236	110	319	578	3,243					
6月	27	25	22	18	29	685	22	171	117	995	2,246	2,157	1,251	3	89
						1,627	66	394	159	2,246					
7月	27	26	22	16	34	672	61	295	182	1,210	2,562	2,429	1,352	3	133
						1,563	138	630	231	2,562					
8月	27	26	23	22	31	605	133	195	118	1,051	2,830	2,820	1,779	1	10
						1,591	387	477	375	2,830					
9月	26	26	22	20	22	454	5	193	134	696	1,737	1,698	1,041	2	39
						1,123	10	218	386	1,737					
10月	26	16	21	9	9	37	93	39	256	425	890	858	465	1	32
						87	199	86	518	890					
11月	26	12	22	7	9	192	4	74	119	389	767	710	378	2	57
						372	8	131	256	767					
12月	25	9	20	5	6	48	49	19	98	214	456	456	242	0	0
						96	125	39	196	456					
1月	24	10	20	6	9	60	21	25	32	138	332	306	194	3	26
						118	84	66	64	332					
2月	24	7	19	3	9	74	11	17	14	116	221	209	105	1	12
						140	22	31	28	221					
3月	27	17	23	11	4	93	114	33	29	269	678	678	409	0	0
						186	303	73	116	678					
累計	313	220	259	153	205	4,007	843	1,160	1,684	7,694	17,698	16,885	10,004	21	813
						9,734	2,096	2,606	3,262	17,698					